

老健 しずおか

第12号



静岡県老人保健施設協議会機関誌



撮影：富士市 天間

ご挨拶

何よりもまず、きびしい状況のなか日夜努力されている老健職員の皆様に心からの感謝と敬意を表します。

老人保健施設が始まって20年、老健関係者の努力により医療介護の分野を切り拓き、幾多の実績を重ねて参りましたが、更に在宅支援機能、リハビリテーションの充実がクローズアップされて参りました。多岐に亘る要請が充まりつつある状況にあると言えます。

「老健は安定的に運営を続けるところが多いと思います。しかしながらこの安定は近いうちに大きく困難に変わる可能性が出て参りました」と前静岡県老人保健施設協議会会長の渡邊庸一先生が老健しずおか7号に書いておられました。介護報酬の面でも老健の運営は様々な深刻な状況を通じてゆくとされます。しかし日々最前線で介護に携わっている老健職員は誇りとともに明るい未来を望みながら仕事に邁進されることを祈ってやみません。

静岡県老人保健施設協議会の前会長渡邊庸一先生が先日急逝されました。長年に亘る御功績に心より感謝申し上げます。同時に在りし日を偲びつつ衷心より哀悼の意を捧げます。

昨年四月より渡邊先生の後を受け会長職を拝命しました。浅学菲才の身に鞭打って努力する所存ですが、会員の皆様の御支援、御指導、よろしくお願い申し上げます。



静岡県老人保健施設協議会

会長

藤澤 弘 芳

ご挨拶



静岡県健康福祉部長寿健康総室

静岡県介護保険室長

佐野 龍 司

日ごろ、貴会及び貴会会員の皆様には、本県の高齢者福祉の推進に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

介護保険制度がスタートして8年が経過いたしました。制度そのものはほぼ定着したものと思われますが、昨年はコムスン問題をきっかけとして、介護保険制度が抱える問題点や課題等が幅広く議論された年でもありました。

また、医療制度改革に伴う療養病床の削減問題では、主な転換先とされた介護老人保健施設にとつては非常に大きな影響があることから、貴会全国組織が先頭に立って議論や検討がなされたところでもあります。県といたしましても、この二月に静岡県地域ケア体制整備構想を策定したところであり、平成二十一年度からの第四期介護保険計画に反映してまいります。

なお、平成二十年度からの三年間を強化期間として、介護給付の適正化に向けて県及び市町が連携して取り組んで行くことが求められております。この取組は、介護保険を持続可能な制度とするために、これまで各市町が個々に実施していた適正化事業について、介護サービスが真に所期の効果をあげているか、不適正・不正な介護サービスはないかなどの観点から見直しを行い、県全体の計画として戦略的に取り組んでいくとするものであり、全国的な取組でもあります。具体的には、ケアプランチェックや、適正化システムを活用した縦覧点検・医療情報との突合等の諸事業について、計画的に取組メニューを増やしていくほか、介護サービス提供事業者に対する効果的な指導監査の実施等を通じて、より良質な介護サービスの提供を実現しようとするものです。

高齢社会の一層の進展に伴い、良質な介護サービスの安定的提供は、我々介護保険に従事する者にとつて最も重要な使命であります。

貴会におかれましては、こうした適正化計画の円滑な実施について御支援・御協力をいただくとともに、地域の在宅ケアを支える中核的施設としてその役割を100%発揮され、在宅生活復帰に向けて更なる御尽力をお願いします。

タカネ園

「生涯青春」

ある利用者さんの言葉です。「お若いですね。」と声をかけると、「生涯青春!!」と瞳をキラキラさせて答えてくれました。

タカネ園ご利用者・職員のモットーでありたいと思います。

手芸・習字・カラオケ・ゲートボールなど15のクラブ活動があります。自分だけの作品を作る、作品を完成させる過程を楽しむ、練習を重ねて日頃の成果を発表するなど、心身の健康作りを行っています。

食事は、食べる喜びを感じることができるよう、季節に合った食事・希望献立・行事食などを提供しています。

利用者の皆様に“生涯青春”と感じていただけるような施設を目指して、スタッフ一同日々精進してまいります。



リバブルケア

“自分の家族の一人が利用されている”そんな気持ちで、明るく暖かい家庭的な雰囲気の中に生き甲斐のある毎日を送って頂くのが私達スタッフみんなの願いです。利用されるお一人お一人のお気持ちや夢、願いを大切に、医療、看護、生活介護、リハビリ、レクリエーション等を通して、ご本人自らが毎日の生活に自信と喜びを重ねて頂く笑顔。私達はそんな笑顔を一緒に共感したいと日々がんばっております。



玄関先は保育園のお散歩コース
世代をこえた笑顔と会話の
交流があります。

今年の田貫湖バスハイクは3班とも秋日和
湖畔の散策で秋をたくさんみつけた。



その時あわてる事のないように、
Dr.を講師に救急処生法の研修会。

周辺の山でハチコ（竹の子）を収穫
皆で皮むき、昼食のおかず一品増えたぞ！

ヒューマンライフ富士

◎背後に雄大な富士山を仰ぎ、正面には駿河湾を見渡す
静かな環境です。明るく広く機能的な空間です。

◎開設以来、人との触れ合いを大切に、抑制の完全撤廃
に努め、調理実習・クラブ活動や外出の他に、季節ご
との諸行事をご家族、地域の方々と共に楽しく行なっ
ています。

◎職員一同、老健施設の機能と役割を目標にご利用者の
皆様が安心できるサービスに努めています。



みくりや園

当園は東に箱根、西に富士山と自然に囲まれた場所に
あります。ひとたび窓を開けると、近隣の商店街の賑や
かさや小学校のグラウンドから子供たちの元気な声が聞こ
え、ご利用者の顔も自然とほころびます。

入所定員67名と、施設としては小さな規模ではあり
ますが、その分ご利用者同士、スタッフとの交流も深
く、これからも当園らしい温かみのある介護に努め“私
もいつかはこの施設に…”と思える環境を提供してい
きたいと思ひます。

また、園内には習字・散髪・踊り・アニマルセラピー
等のボランティアの方が見え、ご利用者も毎回楽しみに
しています。習字では“書く”だけでなく、中には思ひ
のまま“描く”方もいます。そのような時、改めて決め
られたことだけでなく、その人らしさを大切にして、こ
れからも介護をさせて頂きたいと思ひます。



小学生との交流会にて…

安 寧 の 郷

開設より今年で14年目を迎え、昨年には地域の皆様のご理解、ご協力のもと150床への増床を行いました。職員一同、改めて地域の期待と自分達の責務の重さを実感しています。

今後は老健の理念である在宅復帰に向けたリハビリを中心に、ご利用者の施設生活の充実だけにとどまらず、退所後の生活においても「笑顔」の絶えない日々を送っていただけるよう努力していきたいと思ひます。



富士ケアセンター

富士ケアセンターは、豊かな緑に囲まれ静かな環境の中にあり、雄大な富士山を施設正面に望むことができます。入所定員100名、通所定員60名の施設です。

当施設は、身体的なリハビリはもちろんのこと、併設病院である富士リハビリ病院（精神科等）と連携し、精神面での心のリハビリやケア、認知症への対応にも力を入れて取り組んでいます。

ご利用される方の多様なニーズに応えられる施設を目指し、日々努力しています。

（施設正面から見た風景）



長泉ケアセンター博寿園

当長泉ケアセンター博寿園は新幹線三島駅近くに位置し、今年で開設13年目を迎えます。北に富士、南に駿河湾を見下ろし、温暖で快適な環境に恵まれた施設です。御利用者と御家族皆様の笑顔の為に職員一丸となってよりよいサービスを提供すべく頑張っております。

季節感を大切にたくさんの行事やボランティアの方々による楽しさあふれる施設生活をモットーとしております。更に併設の訪問リハビリステーション「すこやか」と通所リハビリで在宅での機能回復にも力を注いでおり、在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所によるサポートも行っております。

また医療面では、隣接している同一グループの池田病院が年中無休体制で緊急対応しており、福祉と地域医療の両面から貢献し、安心して過ごせる日々をと願っております。



梅名の里

梅名の里は、開設14年目を迎えました。「利用者の皆さま一人ひとりを大切に、目配り（観察）、気配り（技術）、心配り（心をこめる）のあるケアを行ない安全で生きがいのある充実した毎日を過ごしていただけるようにします」というケア理念のもと、利用者の皆さまやご家族の皆さま、地域の方々から多くのことを教わり、一步一步前進してきました。在宅サービス部門も充実・拡大し、医療・保健・福祉をトータルに考え地域の方々との連携を計っています。リハビリを中心とした生活全般の援助をさせていただいていますが、視点は常に利用者本位・自立支援でなければならないと思っています。主役は利用者の皆さまです。



あすなろ

あすなろは、地域の方々に支えられて13年目を迎えます。開設当時から一貫して地域に根づけるよう在宅支援を行ってきました。これからも、地域社会から信頼される施設になれるよう努めていきます。

あすなろが、いま力を入れていることは、

- 1、縛らない介護の徹底、それでいて転倒事故が少ない介護。
- 2、食事をかめない人やのみこみの悪い人に提供する見た目もよく誤嚥の危険が少ない食形態の完成。
- 3、高齢者筋力向上トレーニング（パワーリハビリテーション）による要介護度の軽減。
- 4、症状が悪化した時の施設と病院間の滑らかな連携。



おおひら



当施設「おおひら」では地域交流の一環として「おおひらホタル会」を開催しております。毎年開催され続けて、10回を数えるようになります。

幻想的な自然空間

を施設内に演出する事により心の癒しの効果があると考えております。施設入所者、通所者はもとより地元大平の方々にもひと時の安らぎを感じると共に不思議を体験していただいております。

「ホタルの光」に感動する気持ちを利用者、地元の方々、そして子供達が持ち続けてくればと思います、今後も回数を重ねていきたいと思っております。

私たちは利用者のご家族、そして地域の方々にも開かれた開放的な施設作りを目指しております。



ききょうの郷

平成9年4月1日に開設。富士市の南西、富士川の近くに位置し、入所定員100名（内、認知症専門棟40名）、通所定員40名の施設です。その他在宅介護支援センターききょう、ヘルパーステーション百葉、グループホームおとなりさんが併設されています。

「自らが受けたいと思う医療と福祉の創造」を理念にかかげ、自分が老いていくのが怖くならないための介護を目指し、日々サービスの提供を行っております。利用者個々の心身状況や症状に合わせた機能訓練を行っている他、特別な日をお祝いするパステーツアーやパステー御膳などの実施、季節の行事を取り入れた行事食は月2回、毎日のレクリエーションなどで、日々の生活に変化を与え潤いのあるものにしています。また地域の方々との結びつきを大切にし、ボランティアや慰問の受け入れを積極的に行っています。

これからも施設として研修会や勉強会等に積極的に参加をし、スタッフひとり一人の質の向上を図り、ますます進みゆく高齢社会にふさわしい、地域の方に親しまれる施設づくりに努めていきたいと思っております。

熱海ナースィングホーム翔寿園

当施設は、平成8年に単独型施設として開設し、今年で12年目となりました。

入所定員82名、通所定員13名の定員にて運営しています。当施設の隣に協力病院もあり医療との連携も充実しております。

私達職員一同は、御利用者様に対し、家族主義に徹し、看介護・リハビリ等を通じ、温かい人と人とのふれあいを大切にしていくことを理念に日々業務させて頂いております。

これからも地域に開かれた施設を目指して努力して参ります。



のぞみ

当施設は、伊東市宇佐美にあります。

源頼朝が、伊豆流刑中、亀石峠を下り宇佐美塩木道（うさみしょきみち）を通って伊東祐親の姫（八重姫）の待つ音無の森へ通われたという縁のある場所でもあります。

一般入所100名（短期入所4名含む）、通所リハビリテーション20名を受けいている施設です。

写真は、通所リハビリテーションでの様子です。日常生活の機能向上を目標に活動を行なっています。

家庭的な雰囲気を大切にし、ひとりひとりのニーズに答えるために、日々努力しています。御利用者様が安心してサービスを利用できるように多職種共同にて提供しております。



ラ・サンテふよう

ラ・サンテとは『健康』を意味するフランス語です。利用者の方たちが健康でいられるよう、全ての職員が情熱をもってケアに取り組んでいます。

私たちの施設は、三島市北部の高台（芙蓉台）に位置し、北は富士山を、西は駿河湾を望む絶景の場所です。

全ての職種が連携をくみ、在宅復帰・在宅生活支援のための短期・集中的リハビリテーションを展開しています。また「身体拘束ゼロ宣言」を行い、利用者皆様の人権を尊重したケアに努めています。パワーリハビリテーションによる活動性の向上や、管理栄養士による栄養相談、歯科衛生士による口腔ケアなど介護予防にも積極的に取り組んでいます。リハビリだけでなく、利用者の方たちの生活の彩りと日々のレクリエーションやクラブ活動も活発に行なっています。ボランティアの方たちも多数訪問されて、毎日楽しく和やかに過ごしていただいています。



河津おもと苑

この原稿を書く頃には毎年、“河津桜”で華やかな時季ですが、今年は一転、天城道路も規制が出る様な週末毎の“雪”です。ほころびかけた雪もストップしています。



当苑も、今秋に開所10年目を迎えます。“介護”という新しい分野に、又目まぐるしく変わる状況にとまどいながらの毎日でした。利用者様主体の、地域に密着した施設づくりに職員一同頑張ってきました。これからも“初心忘れず”より“やさしい施設”づくりを心掛けてまいりたいと思います。

昨秋は、通所リハビリの作品展を行いました。2年に1度ですが、町の図書館のギャラリーにて、利用者様の日頃の力作を皆様に見ていただきました。陶芸、ちぎり絵、ロールアート等多彩です。ロールアートの“水族館”が仕上がった後スタッフのひとりが“この作品の後ちぎり



絵の制作に入ったら、利用者様の指の力が変わったヨ!”と云っております。亀の歩みの如くですが、日頃の努力を感じました。

みゆきの苑

みゆきの苑は、富士宮市のほぼ中央に位置し、交通の便は良く南富士病院前バス停下車1分、富士山を背負った名勝の地に立地しております。

入所定員109床（うち認知症専門棟36床）通所定員70名の、南富士病院併設の施設です。

当施設の理念は「明るく、家庭的な雰囲気の中で、笑顔と温もりのある療養生活が送れ、利用者の一日も早い家庭復帰をめざして地域に開かれた施設」として、地域の皆様やご家庭とのつながりを大切に考えた運営を行っています。

毎月開く“お誕生会”や四季折々のイベントには、地域のボランティアの方々にご出演いただき、楽しいひと時を過ごしております。



なぎさ園

当施設は、伊豆半島南端に位置する介護老人保健施設として、平成13年4月に開設し、今年で8年目を迎えます。

海と山に囲まれた静かで、暖かい気候の中、なぎさ園理念である「手から手へ心から心へつなげる施設～心地よい生活空間を～」をモットーに、日々スタッフ一同、一丸となって取り組んでいます。

また、伊豆半島南部の唯一の公的病院である共立湊病院が併設し、協力病院として、緊急時における支援体制も整っています。

安心と安全を考慮し、地域に根ざした施設として、笑顔あふれるサービスを提供しています。



しおさい

しおさいは、平成12年4月に開設し、今年で8年目を迎えます。健育会のビジョンであるクライアントの“心を豊かにする”、そして当施設のモットーである“もう一つの楽しい家”に重きを置いた施設環境の整備に職員一丸となって取り組んでいます。

入所定員46名、短期入所定員4名、通所リハビリテーション定員30名、訪問リハビリテーションの施設です。又、急性期の病棟を備えた24時間体制の協力病院「西伊豆病院」が隣接しているため、緊急時における援護体制も整っています。今後も老健の理念、役割と機能を基に地域の皆様に『質の高い医療・介護サービス、そして、安心』を提供していきます。



グリーنز修善寺

グリーنز修善寺は、平成14年4月に開設され、新年度から7年目に入ります。伊豆市役所の前に位置し、入所定員100名（うちショート10名）、通所リハビリ定員30名の施設であり、伊豆市で唯一の老健施設として地域の期待をになっています。

人道、博愛の赤十字精神のもと、ご利用者のお気持ちと人格を尊重したケアサービス、清潔で快適な生活空間、おいしい食事の提供に努めております。

特に伊豆赤十字病院に併設されているため医療面では恵まれています。

今後共地域の皆様に親しまれ、ご利用者にご満足いただけるサービスの提供ができる施設となるよう、職員一同より一層の努力を重ねてまいりたいと考えております。



ひろみ

当施設は平成14年4月、富士山の真下に広見医院併設として開設しました。開設以来、『自分が利用したいと思う施設を目指して』というひろみの理念のもと、看護・介護の行き届いたケアサービスの提供を目標に、リハビリスタッフを中心に各職種が連携して個別及び集団リハビリ



（当施設屋上にて撮影）

に力を入れ、心身機能維持回復に努めています。

また屋外歩行訓練と季節感を味わえる「心のリハビリ」を目標に、初詣・お花見・紅葉狩り等外出の機会を増やし、あじさい祭・ひろみ秋まつり・敬老会等の行事を行なっています。また地域の行事にも参加して、交流を図っています。



ひろみ秋まつりのオープニング

椎路の里



椎路の里は6年目の春を迎えます。当施設の特徴として、屋外には四季折々の植物や野菜に溢れたふれあい広場、色とりどりの果物で賑やかな果樹園等の園芸広場があります。その一角を利用して園芸療法に取り組んでおります。園芸には計り知れない癒しの効果があります。屋外の自然の輝きや風の香り、身体全体で季節感を感じる事や色々な感覚刺激を得られます。園芸療法は利用者様が主となり、種まきから雑草取り、収穫、調理試食会と全て参加して頂いております。利用者様同士での交流の場や、ホッとできる時間、そして素敵な笑顔を見せて頂けるひとときとして取り組んでおります。

これからも利用者様が心とめめる時間、安心して暮らせる場として充実した生活が過ごせますよう、一層の努力を続けて参りたいと思います。



サン静浦

沼津市の南部に位置し眼前に駿河湾を眺望し晴天の日には富士山も望める風光明媚な場所にあります。

平成14年に開設された当施設は、終始一貫してご利用者様に望ましい在宅又は施設生活が過ごせるよう看護、介護、リハビリテーション等、総合的な支援を提供しています。

サン静浦は、一般棟55床、認知症棟45床、内ショートステイ10床、通所リハビリテーション27名の複合施設です。

今までの経験や利用者様、ご家族様、地域とのふれあいを大切に毎日の療養生活を画一的にお手伝いするとともに在宅ケアなどご家族の負担軽減をするためのシステムも整備しています。



みしゅくケアセンターわか葉



雄大な富士の裾野にボランティアや地域の人々に支えられて4年目を迎える事ができました。これからも開かれた施設を目指し、職員一丸となって取り組む所存でおります。

◎運動療法士・作業療法士・言語聴覚療法士の充実したリハスタッフのもと、利用者様の残存機能を生かし、自立へ向けてのリズムある楽しい生活リハビリに重点をおいています。

◎医食同源の考えのもと、満足感のある食生活の充実に全スタッフが関り、安全で美味しく季節感のある食事は喜ばれています。

◎健康管理については、隣接する病院の支援を得て養生・看護・治療と「わか葉」のように生き生きと生活して頂くよう努めています。

◎認知症棟は穏やかな毎日を過ぎて頂くようプロスタッフが♡いっぱい支援しています。

◎一年を通じてお花見・納涼祭他地域交流を兼ねた月行事、ボランティア行事、クラブ活動等、生活の変化を大切に、医師から清掃洗濯の専門スタッフ一同が、清潔で安全な環境の提供と、明かるく笑顔いっぱいの日々を過ごして頂けるようサービスを提供しています。

夢の樹の郷

当施設は、正面に富士山を望み、日本名水のひとつでもある柿田川を控えた清水町に平成15年4月に開設しました。

お年寄りとの係りの基本理念は明日では遅い、今日して差し上げられるという一期一会の精神と私共は考えております。また、お年寄りと接することで、学ぶべきものがたくさんあると考えているので、地域の皆様とのふれあいも大切にしております。

これからもふれあいを大切に、開放された施設づくりに努力してまいります。



い か る 野

介護老人保健施設いかる野は、平成18年4月1日に開設し、今年で3年目を迎えるとしています。

施設名いかる野は、富士山の麓、白糸の滝上に位置し、自然豊かな敷地内の森に生息する野鳥のイカルに由来します。住みやすい環境とゆったりした施設で利用される皆様が、快適に、そして穏やかな毎日が送れる様にとの願いを込めた命名です。

“生き甲斐と安心のある毎日”を過ごして頂くために、お一人お一人の心身の機能と、お気持ちや願いを大切に私達スタッフ一同“自分の家族の一員が利用されている”こんな気持ちで毎日、笑顔でケアに取り組んでおります。



ヒルズかどいけ

「福祉の基本は在宅であることを念頭におき利用者の自立を最大限に尊重し、医療的見地に立って介護いたします」を基本理念とし、日々業務を行っております。また、4月の「お花見遠足」をはじめ8月の「納涼祭」など四季の移ろいを感じていただけるよう毎月のレクリエーションを企画しております。

「筋トレ」に加えて外部から「脳トレ」の講師をまねき介護予防にも力を入れております。開所4年目をむかえ更に一層地域に根ざすことのできる施設をめざして職員一同頑張っております。



ふれあいの下田

平成18年4月1日、伊豆の下田市に市内初の老人保健施設を開設致しました。

入所定員70名、通所定員20名のご利用が可能であり、下田湾を見下ろす高台に建つ4階建ての建物は、ふれあいグループの理念である「人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」を見現化したモダンな様式になっています。グループの一員として、ご利用者様に安心と喜びを提供できるように様々な連携をし、「入所して良かった」「利用して良かった」と言って頂けるように頑張っております。



みはらし

伊東市介護老人保健施設みはらしは、平成18年4月1日に伊東市の介護老人保健施設として社団法人地域医療振興協会が指定管理者の指定を受け開設いたしました。

伊東市街地から車で約10分、岡地区（一昔前にプロ野球の有名球団が「地獄の伊東キャンプ」を行っていた球場跡地）に位置し、車で1分圏内には協力病院（24時間救急病院）もある立地条件に恵まれた施設です。

施設の利用定員は、一般入所85名、認知症40名、合計125名（短期入所含む）、通所リハビリテーション30名を受け入れている施設です。

施設の理念「利用者の皆様の個性を尊重し、安全に配慮しつつ生活機能の維持・向上を支援し、在宅での自立を

支援します」のとおり、温泉を利用した個別浴、個別リハビリ、栄養ケアマネジメントに重点を置いた利用者一人ひとりにあった介護計画を基に、常に安全に心がけ、ご利用される皆様が生き生きとした在宅生活を送れるよう、地域の皆様のご協力のもと自立に向けて共に支援していきたいと考えております。





いとうの杜

青い海と緑の木々に囲まれた湯の街伊東市。その中心地JR伊東駅から徒歩2分、私たちの施設「介護老人保健施設いとうの杜」があります。療養室からは海や夏の花火等を望むことができ、裏山からは小鳥のさえずりや新緑の薫り等、恵まれた自然の中でやすらぎと憩いの生活空間を提供致します。

当施設は入所定員135名です。一般フロア、認知症専門フロア、ユニットフロア等のタイプ別にフロアが分かれており、個室や4人室、2人室等、ご利用される方お一人お一人の身体状況やご希望等に合わせ療養室をご用意しております。また、地域の皆様に住み慣れたご自宅で、安心した生活を送って頂けるよう、在宅サービスにも力を入れています。パワーリハビリや温泉浴を取り入れた、通所リハビリテーション(定員30名)、全室個室の短期入所生活介護専門フロア(定員21名)、訪問介護ステーションや居宅介護支援事業所等、総合的に皆様のお手伝いをさせて頂いております。心身の自立を促す居住空間の確立とトータルケアを目指す「いとうの杜」に、是非皆様足をお運び下さい。



〔中部地区〕

あかつきの園

当施設は開設17年目を迎えております。建物や設備などが古くなってきておりますが、いつでもなおお客様に来て頂いても気持ち良いように清潔を心掛けております。今まで培ってきたノウハウを活かし、より一層のサービス提供をしていきたいと思っております。当施設は母体である病院(精神・神経科)と連携し認知症の方の受け入れを積極的に行なっております。精神疾患のある方や認知症の方、ADL低下のためグループホームより移られてくる方も増えてきており介護度の重度化が更に進んでいます。身寄りのない方、家族が遠方の方、家族が高齢の方など利用者の取り巻く環境も変化してきています。家族の協力を得ながら一人一人の事情に合わせた個別ケアも必要になってきています。利用者の要望に答えながらより良い生活の場を作っていきたいと思っております。



ケアセンター瀬名

ケアセンター瀬名は、平成元年に静岡瀬名病院の併設施設として、竜爪山を望み閑静で緑豊かな環境でスタートしました。静清バイパスから車で10分の距離に位置し、交通アクセスも便利です。

当施設では、入所者及び通所リハビリテーションの通所者向けに、様々なクラブ活動を行っています。従来の書道、貼り絵、カラオケといった定番のクラブに加え、押し花、手芸、刺し子、お料理、園芸といった作業リハビリにつながるクラブ活動を積極的に行っています。また1年を通じて、様々な催しを地域のボランティアの方々の協力を得ながら提供し、入所生活の活性化に役立っています。

これからも、充実した介護サービスの提供を目指し、併設の静岡瀬名病院、ケアハウスレインボー瀬名をはじめとした関連施設との連携をはかり、地域に根ざした施設運営をしていきます。



焼津ケアセンター

私ども施設は、焼津市にある老人保健施設です。平成7年4月にオープンし今年14年目を迎える焼津では老舗の老健です。入所定員150名、通所定員60名です。リハビリテーションも力を入れており、予防リハビリ、運動機能訓練、作業療法訓練、言語聴覚訓練を行っております。県内ではめずらしいプールもあり、プールリハビリも行っています。プールリハビリは主に通所に通ってこられる皆様が対象で行っています。また、併設に療養型医療施設（駿河西病院）があります。



ケア・センター ひまわり

ケア・センターひまわりは、平成5年9月に開設し、入所定員100名（短期入所を含む）と、通所リハビリテーション20名/日の介護老人保健施設です。

「ひまわり」の特徴・売りは、

- 食事については、厨房設備を大幅更新し、管理栄養士が中心となり、各個人にあった栄養ケアマネジメントで、美味しい食事を提供しています。
- 施設は、静岡市清水区の市街地に位置し、静鉄シャストライン、山原梅蔭寺線、村松原バス停より徒歩1分の交通の便がよく、ご家族が気楽に通って頂けます。
- 不快なオムツは、できるだけしない方がよいとのポリシーのもとに、オムツの徹底研究により使用量の少ない吸収量の大きいオムツを提供しております。
- 施設は、個室も若干ありますが、4人部屋中心の居室ですので、ご本人様負担額もユニット型に比し割安です。



サンライズ大浜

天気の良い日は、富士山が見え、潮のかがりがほのかに漂う、恵まれた環境にある当施設は、「人にやさしいサンライズ大浜」をモットーに、13年目を迎えた今年もご利用者様お一人お一人のご希望やニーズに合わせたサービスを提供していく所存であります。

併設サービスに通所リハビリテーション、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所を持ち、本体である老人保健施設と松生整形外科医院と共に地域の皆様に介護や医療サービスを提供してまいります。

お花見や紅葉見物等のドライブ、誕生会メニューや寿司、たこ焼き、秋祭りや各種ボランティアなどご利用者様に楽しんで頂ける企画を行ってまいりました。生活の根本である食事・入浴・リハビリ・排泄等の基本サービスの更なる向上共々、アクティビティーの充実にも、より一層の努力をおしまぬよう取り組んでまいります。



▲恒例の秋祭りです！

コミュニティーケア高草

毎日の生活の中には「楽しみ」が必要。今回は私たち自慢の楽しいサークル活動をいくつかご紹介しましょう。

まず1つ目は料理教室。園芸教室の中で、当施設内の畑で栽培・収穫したさつま芋等の新鮮な野菜を使い、季節感たっぷりのおいしいお菓子を作っています。これまでの料理の経験を思い出して腕をふるってくれる方が沢山おり、毎回おいしいお菓子が完成しています。やはり、施設内で栽培した採れたての物を使ったお菓子は味も格別のようです。

2つ目は陶芸教室。湯飲みや花瓶等、利用者様ご自身が考え、ご自身の手で創り上げることにより、創作中のワクワク感や完成後の満足感を満喫していただいております。集中して取り組むことや、お互いの作品への感想を交換することによっても、喜びや更なる作品の創作意欲へと結びついています。

又、ご家庭へお持ち帰りいただいた作品を、お孫さんが喜んで愛用されているという嬉しいお声も頂いております。

楽しい活動と、沢山のひととの交流を通して、毎日の生活に喜びと活力、生きがいを見出していただいております。



こみに

介護を必要とする方々に対して、医療・看護・介護・リハビリテーションを総合的に提供する施設です。家庭的で、あったかな雰囲気の中で楽しく、個性を大切に、ゆったりとした気持ちで良いひとときを送っていただきたいと考えています。

また、当施設では利用者様に、地域とのふれあいを多く持っていただくため、様々なボランティアの皆様を迎え入れ、家庭、地域、友人との結びつきも大切に、安心して楽しい日常生活が送れるようサービスの提供に、職員一同日々努力しております。



楽 寿

当施設は、「高齢者への尊厳」という法人の理念に基づき、ご利用者お一人おひとりの思いを大切に、ケアを提供するよう心がけております。

お花見、節分、ひなまつり、夏祭り、運動会などの季節の行事や、レクリエーション等を通して、家庭的な雰囲気を保ち、楽しく豊かな施設生活を営むことが出来るように努めると共に、ご利用者の「自分らしさ」を引き出せるよう、ケアに努めております。



カリタス・メンテ

当施設は、平成9年5月に開設し、入所者50名、通所者29名と規模は小さい施設ですが、利用者様の立場に立ち、心の通い合えるケアを目指し、2年程前から、施設での看取りケアにも目を向けて取り組んでいます。



他職種が協働し、利用者様・ご家族が安心して、明るく笑顔で過ごせる「生活の場」となれるよう、これからも努力してまいります。



ケアセンターゆうゆう



当施設は平成9年に開設し、「障害を個性の一部と捉え、その人らしい生活を再構築する」を理念に掲げ入浴、食事、排泄を通し、利用者の皆様とあたり前の

生活を造り、「身体拘束ゼロ宣言」も実施し利用者様一人ひとりに適した質の高いケアの提供を目指しています。

通所リハビリテーションでは介護予防に力を入れ、パワーリハビリやリハビリスタッフによる個別リハビリの提供、歯科衛生士による口腔機能向上、管理栄養士による栄養改善にと積極的に取り組んでおります。



エコトープ

設立10年目を迎えました。

【施設概要】本館は回廊形式、新館はユニット形式になっています。本館1F：通所リハビリ(50名)、診療室・施設リハビリ・浴室・厨房等の共用部門、職員食堂・ロッカー室等の職員用施設、事務室をはじめとする事務部門。本館2F：一般療養棟(52床、内個室4床)。本館3F：痴呆専門棟(32床、内個室4床)、痴呆通所(10名)。新館1F：機械室及び駐車場。新館2・3F：一般療養棟(66床、各階11×3)

【運営】設立時からの理念である「利用者本位の介護」「全職員参加の介護」を実現するため、新人職員ともども努力しています。



グリーンヒルズ藤枝

藤枝市の北部郊外に位置し、瀬戸川の清流と緑豊かな自然環境に恵まれた当施設は、聖稜リハビリテーション病院を母体とし、入所(短期入所療養介護を含む)100名、通所リハビリテーション75名の方々が利用されています。医学的管理の下、訓練士5名を配置してのリハビリテーション、看護、介護その他必要な医療並びに日常生活上の支援を行いつつ、居宅における生活への復帰を目指しています。利用者が「にこやか」に「個性豊かに」過ごすことができるよう常に創意工夫しサービスの提供に努めています。行事としてお花見、夏祭り、運動会、紅葉狩り、家族介護教室など季節ごとのイベントを行い利用者、家族、地域住民との交流を深めています。利用者の笑顔がいつでも見られ活気のある日々が送れるよう職員一同頑張っていますので、施設見学等皆様方のお越しを心よりお待ちしております。



運動会のようす

アリス草薙

私たちの生活において情報収集の手段として、インターネットは欠かすことができないものとなっています。インターネットを通じ、多くの人に施設のことを知ってもらえればと、当施設ではホームページを作成し、3年ほど前からネット上で公開しています。

当施設のホームページでは、施設の概要や利用案内などのほか、施設の特徴となっている、審査登録を受けているISO-9001のことや、当施設が掘り当て、入浴や足湯として利用している「有栖温泉」などについて紹介しています。

ホームページの効果は私たちが思っている以上に、転勤で県外から静岡に家族にそろって移ることとなり、親が通える施設を探している人が、ホームページを見たと言って、訪ねてきたこともあります。

このほどホームページをリニューアル。いままで以上に充実したものとなりました。

皆さん、ぜひ<http://www.hakkeikai.or.jp/>にアクセスしてください。お待ちしております。



アポロン

当施設は、JR東海道島田駅より約1kmと交通の便が大変良い住宅地に位置しております。施設の理念である、①家庭復帰をめざします。②明るい家庭的な雰囲気を大切にします。③地域や家族との結びつきを大切にします。④自立した生活を支援します。を目標に、日々の生活やレクリエーション、毎月の行事を通じて笑顔の絶えない毎日を利用者様と共に送っています。特に在宅復帰の為に、日々のリハビリテーションに力を入れ、また、在宅に帰られた方々の生活も訪問介護・訪問看護・通所リハビリ・居宅介護支援とトータル的に支援させて頂いております。

開設10周年目を迎え、よりいっそう、利用者様、ご家族様、地域の方々に愛される施設を目指して職員一同努力しています。



はるかぜ

「はるかぜ」も介護保険とともに9年目を迎えます。牧之原市唯一の老健施設として介護サービスの提供を行い、地域の皆様に貢献しています。

海、山と自然に恵まれた牧之原市におきましても、平成21年3月に富士山静岡空港の開設を迎えます。また、スズキ自動車の新工場も本格稼働するなど、取り巻く環境も大きく変化していきます。

私たち「はるかぜ」職員一人ひとりがサービスの質を高めるとともに、「はるかぜ」のモットー「生命（いのち）に輝きを」の実現に向けて努力をしています。

医師・看護師・介護士・PT・OTを中心とした医療・介護・個別リハビリテーション、介護スタッフが創意工夫した季節行事・集団レクリエーション・ドライブ、施設全体で行う納涼祭・クリ忘会等、いろいろな催しを通じ、利用者一人ひとりが輝き、生き生きと生活できるよう「はるかぜ」職員全員でサポートしています。

21年に迎える10周年に向けて、着実に一步一步進んでまいります。



萩の里

当施設は、平成12年4月に開設し、本年度9年目を迎えることができました。サービスは施設入所（100床）・通所リハビリテーション（85床）をはじめ、短期入所療養介護（ショートステイ）・訪問看護・訪問介護・訪問リハビリテーション・居宅介護支援事業所の運営を行っています。また、同法人で療養型病院、障害福祉サービス事業所も隣接しております。地域に根ざした医療・介護・福祉の3本柱で総合的なサービス提供体制を築き上げていくことを目指しております。

身体的なリハビリテーションはもとより、カラオケ、園芸療法も喜ばれております。利用者の方々に充実した時間を過ごして頂き、満足感を持って頂けるような施設作りに努力していきます。



葵の里

今年も裏山の蜜柑はたわわに実っているのに例年群れをつくって飛び交う目白がこの冬は何故か少なかった。早急の対応策が叫ばれている環境破壊の影響などもあるのでしょうか。

さて、当施設では入所されている方の過ごしやすい環境をつくるための一環として、定期的に勉強会、研修を重ね専門知識を磨き、季節感ある各種行事の際には、職員が趣向を凝らした出し物、催し物で楽しんでいただいております。また看護・介護・リハビリの連携を密にとり、生活機能の維持・向上をめざし、地域の方やボランティアの方の協力に支えられながら、心地よい、温かい空気が満ち溢れた施設であるよう努めていきたいと思っております。



きよみの里

薩埵峠の麓の高台に位置し、南には伊豆半島、駿河湾を一望できるとても景色が良い事・ゆったりと広々とした部屋が自慢の施設となっております。

“個々の利用者様を大切にしたいケアサービスを提供し、地域の人々が安心して暮らせる老後のお手伝い”が施設の理念であり、利用者様の個々に合わせたリハビリの実施や、看介護による毎日のケアを実践しております。また、毎月行われる趣向を凝らした誕生会や、夏祭り、クリスマスコンサートなどの行事も行っております。

今後とも、家庭的な雰囲気の中で、利用者様に喜ばれ満足していただける施設を目指していきます。



あ み

「あみ」は、静岡市街から安倍街道を北へ車で約15分程の所に位置し、周囲にはお茶・ぶどう・みかん・イチシク・しだれ桜など四季折々に味覚と香りを楽しめる自然豊かな地域にあります。

施設では、ご利用者の方々の在宅復帰・在宅支援のため、医師・看護師・介護職・リハビリテーションスタッフ等が連携し、個々のご利用者のサービス計画書に基づき、物理療法・作業療法・筋力トレーニング・歩行訓練・言語療法等を行っています。また、心身のケアのため、趣味を活かした活動や四季折々には外出し、花や果実にふれてリフレッシュし、早く日常生活に戻っていただくことを願っています。

今後とも地域の皆さんをはじめ、ご利用される方々そしてご家族の皆さんが安心して「あみ」をご利用いただけますよう一層研鑽を積んでまいります。



タオル体操



紙粘土教室

芙蓉の丘

芙蓉の丘では、利用者様の活動性の維持と生活機能低下防止として「健康体操」を始めました。体力や運動に自信のない方も「私もできた」という小さな達成感や「もう少し出来る」という小さなチャレンジ感を大切に安心して楽しく続けられる事を目的に運動指導員が実施しております。利用者様にも好評で「身体が軽くなった」「夜眠れるようになった」と生活の変化や体調の変化を実感して頂いています。

これからもサービスの質の向上とリハビリテーションの充実を図る為に利用者様と向き合いよりよいケアにつなげていきたいと思っています。



さ く ら

医療法人社団聖雄会が運営する、さくらも今年で5年目を迎えます。この5年間には、平成17年に静岡市内に介護老人保健施設「かりん」、平成19年に藤枝市にグループホーム兼高齢者専用住宅「こでまり」を展開し医療・福祉高齢者事業も充実をしてきました。また、今年は「さくら」の増床が完成し、〔新館1階に一般棟31床、本館2階には、一般棟56床・新館2階認知専門棟23床、3階本館に認知専門棟40床で、一般棟87床・認知専門棟63床の150床〕の入所定員になりました。地域最大規模の老健とし利用者によりよいサービス展開が出来るように法人内の機能をいかしてまいります。



コミュニティーケア吉田

当施設ではリハビリテーションはもとより、御利用者様が心身共に健康で楽しく過ごしていただくために、行事や様々な活動にも力を入れています。今回は当施設で取り組んでいる「料理教室」について紹介します。

料理教室は月に1度、おやつの時間を利用して行っています。料理のメニューは月によって異なりますが、中でもホットプレートを用いたお好み焼きなどは特に好評です。各利用者さんにはそれぞれ役割り分担をしてもらい、食材を切る、混ぜる、焼くなどを行ってまいります。また調理を通じて皆様の昔話など楽しく交え、懐かしい思い出話が尽きることがありません。

料理を通じて手先の動作のリハビリになることはもちろんのこと、におい、料理の出来映え、味など五感で楽しむことができ、参加していただいている利用者さん一人一人から、多くの笑顔を見ることができました。

今後も利用者さんの笑顔が少しでも多く見られるように楽しい活動を増やしていきたいと思っています。

フォレスト 藤枝

当施設では「信頼・安心できる思いやりのある医療・福祉環境づくり」を理念に掲げ、手厚く細やかな介護、充実したリハビリテーションを目標としています。リハビリについては、利用者様の心身機能の維持回復はもちろんのこと、一人一人に適したプログラムを組むなど個別重視の訓練を提供しています。その他、季節に合った様々な行事を行っています、8月には駿府夏祭りを開催し、地域ボランティアの皆様のご協力のもと、大道芸、和太鼓、学生吹奏楽などの催し、夜店を多数並べて盛大に行っています。皆様是非お越し下さい。



マ イ ン ド

マインドは平成15年11月に開設しました。入所定員150名（一般棟102名、認知症棟48名）、通所リハビリテーション40名の施設です。

今年で5年目を迎え、利用者さんの生活の向上を考えさまざまなレクリエーション活動に力を入れています。

当施設の名称でもある「マインド=こころ」すべての利用者さん、ご家族の皆さんに、こころある介護、かわりを今日も考え職員一同頑張っています。



ケアセンター池田の街

「ケアセンター池田の街」は静岡市3区の中央に位置する東静岡地区に平成17年4月にオープンした入所定員110名・通所リハビリテーション定員40名の施設です。交通至便な街中にありながらも、四季を通じ様々な花が咲く屋上庭園や各療養室の窓からは富士山や日本平も眺望でき、喧騒を忘れ穏やかに癒される“都市型”老健施設です。

笑顔のたえない明るい雰囲気の中でご利用者様には個別性の高いリハビリテーションを重視し、季節の行事や様々なイベントの実施日々のレクリエーションなど楽しみながら心身機能の維持向上を図って頂ける様配慮しております。

今後も「やさしさで支えたい、守りたい」の理念のもと、常にご利用者様の視点に立った温もりのあるケアの提供を目指し、一層の努力を重ねて行きたいと考えております。



か り ん

かりんは静岡市の西部、宇津ノ谷峠の山々に囲まれた緑豊かな環境の中にあります。施設では夏祭り（かりん祭り）・作品展（かりん展）・クリスマス会など生活に華を添えるイベントを催したり、動物達とふれあうアニマルセラピーや音楽療法なども積極的に行っています。またクラブ活動も盛んで、コーラスクラブでは歌うことが好きな方が集まり、合唱や輪唱を楽しんでいます。料理クラブでは、おやつ作りや昔懐かしい料理に挑戦し、利用者の皆様にも好評です。古来より「杏一益、梨二益、カリン百益」と言われ、カリンには健康上の様々なパワーがあると伝えられています。きめの細やかな思いやりを大切にし、生きる喜びをお互いに分かち合える「癒しの場」を目指し、お年寄りに元気と笑顔を提供し続ける存在でありたいと考えています。



はまなこ介護老人保健施設



奥浜名湖を一望する小高い丘陵地に立地し東名高速三ヶ日インターより車で1分。天竜浜名湖鉄道、東都筑駅より徒歩10分のところにあります。利用者様の立場に立ったサービスの質の向上。ニーズへの対応を基本理念に私たちは利用者様に楽しく、安心できる生活が送れるよう介護技術の向上に努めています。ショートステイの受け入れ、居宅介護支援事業の実施、通所リハビリテーションの充実にも努めています。月に一度の美食の会をはじめ施設内喫茶、食後の手作りデザートの提供を実施し利用者様に喜ばれる美味しい食事を食べていただこうと、日々積極的に取り組んでいます。職員にあっては第一に挨拶の重要性を認識し明るく、元気よくを合言葉に、利用者様の目線に立って接しています。

西山ウエルケア

当施設「西山ウエルケア」は、平成元年四月に開設し今年で二十年目を迎えました。

当施設では利用者の方々に日常生活において少しでも刺激をもって生活して頂けるようレクリエーションやクラブ活動に力を入れています。例えばクラブ活動では、刺し子、生花、ステンシル、ねん土クラブ等色々な活動をする事で少しでも多くの方が参加できるように心掛けています。またクラブ活動でできた作品は1階フロアや各療養棟に展示しているのが利用者の方の家族の方にも大変喜ばれています。今後も、利用者の方に喜んで頂けるレクリエーションやクラブ活動を考え職員一丸となってよりよい施設を目指し努力して行きたいと思ひます。



みっかび東介護老人保健施設

浜名湖を望み、山々に囲まれた温暖な気候に恵まれた三ヶ日の自然の環境の中、安心して暮らせる療養環境を、私たち職員一同、真心込めてご提供させていただきます。

当施設のモットーは、利用者様に快適で気持ち良く暮らすことのできる環境の提供であり、その為に「明るく・清潔に」を合言葉とし、日々サービスの提供をさせていただいています。また、在宅生活をサポートする通所リハビリテーション、居宅介護支援事業所、有床診療所も併設し、地域福祉ニーズに幅広く対応できる施設であるよう、日々努力しております。

今後も福祉の拠点、在宅介護のお手伝い拠点になるよう、頑張ってゆきたいと思ひます。



三方原ベテルホーム

法人基本理念の「隣人愛」に則って、地域社会の中の一施設として保健・医療・福祉の総合性を大切にするとともに、その中で個性ある役割を担っていくことが当施設の理念です。利用者の「生きよう」という意欲を育みそれぞれの持てる能力を活かした自立を目指しています。併設病院との連携により緊急時の医療的支援や専門性の高いリハビリテーションの実施など利用者一人一人に応じた質の高い医療・介護サービスの提供が可能です。特に維持期のリハビリに力を入れ、生活に即したリハビリを推進することで、長時間の機能維持・改善を目指して地域における在宅生活を支援していきます。



なかよし



子供も大人もみんな「なかよし」今日も一日みんなと「なかよし」こんな気持ちを大切にしながら皆さん生活されています。併設している豊田いせい病院

と連携して、地域に根ざした質の高い医療・看護・介護を提供しています。また、居宅介護支援事業所や訪問診療、訪問看護などとも連携をしスムーズに在宅復帰が実現できるよう努めています。

昨年開設のえいせい掛川介護老人保健施設もよろしくお願いします。



都ケアセンター

都ケアセンターは、浜松市北区の都田に位置し、山並みも近く緑豊かで自然環境に恵まれたところにあります。定員は、入所151名、通所リハビリ40名で、政本病院（療養病床）の併設施設となっております。



都ケアセンターでは、昨年より機能訓練室に新たにパワーリハビリテーション機器を4機導入し、より充実したリハビリを行えるようになりました。

利用者様からは、「身体の動きが良くなった」「疲れにくくなった」という感想があり、実際に、ADL能力の向上にもつながっています。

当施設が開設されて、この春で16年目を迎えます。今後も職員一同、サービスの質の向上と利用者様・ご家族の方に喜ばれ、満足頂ける施設を目指し、日々努力を重ねていきたいと思っています。



ハイマート有玉

楽しく充実した時間を過ごすうちに気がついたら元気になっていた。というのがハイマート有玉の目指すリハビリです。「楽しく」は既成の考えにとらわれず利用者様に喜んでいただけるサービスを提供させていただくこと。「充実した」は藤田保健衛生大学のセラピストやリハビリ専門医の協力を得ながら最新の知見に基づくリハビリを月曜から日曜まで実施することです。

従来の理学療法、作業療法はもちろんリハビリ室に「釣り堀」や「スロットマシン」等を利用して効果を上げています。通所リハビリでは戸外で歩行訓練や園芸療法が出来る広大な前庭を利用いただき好評です。

当施設では今後もさらに人員、設備、環境、心のふれあい、機能訓練内容の充実を計り利用者様の幅広いご要望に応えて行けるように努めてまいります。



エーデルワイス

当施設は、平成19年4月より政令指定都市となった浜松市の北部に位置し、国道152号線沿いで、近くに大型ショッピングセンターもでき、浜松市中心街より車で20分から30分の交通至便な場所にありながら、緑に囲まれた田園の中に位置します。

施設の規模は、入所145床、短期入所5床、通所リハビリ定員1日60名で運営しております。建物の前方には広々としたリハビリ庭園、ふれあい動物園、ミニ果樹園があり、入所者及び通所者のレクリエーション活動や憩いの場となっております。また協力病院が徒歩1～2分のところに隣接しており、当施設の利用者の方々には力強い支援をしています。



入野ケアセンター

当施設は「施設入所」「通所リハ」「短期入所」「訪問看護」「訪問介護」そして「居宅介護支援事業所」と総合的かつ地域に密着したサービスを提供しております。

また、当施設では利用者様の在宅復帰・在宅支援のため積極的なリハビリも実施しております。平成18年には、現在の介護予防に備え歯科衛生士を配置し、利用者様の口腔ケアにも力を入れて取り組んできました。また、通所リハビリにおいては、要支援の利用者様を対象にパワーリハビリを実施し、介護予防を推進しております。

職員一同元氣な挨拶で利用者様を迎え、一日を楽しく過ごして頂けるよう心がけています。



白梅ケアホーム

当施設のリハビリ訓練室は庭に面しており、太陽の光が降り注いでいます。その庭には梅の木・桜の木が植えられており、時には眺めながら、時には歩行訓練として憩いの場となっています。

リハビリでは歩行はもちろん、トイレやベットへの移乗の練習、また衣服の着脱など日常生活に結びつけた内容のものを行います。必要に応じて自宅の状況に合わせた訓練も行っていきます。日々のリハビリにより出来ることが増えたために自信を取り戻し、それ以外のことも影響していく様子が感じられます。

そして、生活の質を高めるリハビリ。習字や皮細工・俳句やちぎり絵・貼り絵などを楽しみながら手を使い、頭を使い脳の活性化を高めます。これらは訓練室だけで行うものではありません。生活の中で行うことにより、より確実なものとなります。療法士が検査し、目標を立て、個別のリハビリプログラムのもと、看護・介護の職員と連携し、毎日の生活の中で出来る能力を最大限に生かした介助をしていきます。



エバーグリーン掛川

当施設には設備部という部署があります。人員としては常勤1名、非常勤2名の小所帯ですが、通所リハビリ・短期入所者の送迎、入所者の行事・外出レクでのバスの運転、準救急搬送や機械・設備の保守、点検、修理などその仕事は多岐にわたっています。

当施設の大きなお風呂(一般浴)は2つあり、共に循環式です。塩素の投入は避けられませんが、あまりに塩素の量が多いとプールようになってしまい、お風呂としての趣に欠けてしまいます。しかし量が少なすぎるとレジオネラ菌が発生し、命にかかわる事態をひき起こしてしまいます。毎日の管理には神経を使うところですが、当施設では平成11年から毎年1回風呂水を一番厳しい条件の時に採取し、レジオネラ菌の有無の検査を実施しています。おかげさまで今のところすべて「マイナス」です。(あたりまえ?) また、全館で130枚以上あるエアコンフィルターの清掃と空気清浄機をきちんと管理し、空気を清潔に保つことで、感染症対策や防臭にも一役買っていると自負しております。そして何より皆様に喜ばれているのではないかとと思うのは、車イスの空気を補填することはもちろん、細かいところまできれいに掃除したり、メンテナンスを行っていることです。最近シーティングの話題を時々耳にしますが、シートはもちろん、車イス全体を使用される方のからだに合わせて使いやすくなるよう調整したり、修理することも大切だと思います。もちろんこうした行為はすべて無料サービスです。

設備部は縁の下の力持的な仕事が多く、目立たない部署ですが、老健での生活をなげなく過ごせているということは、実は大変快適なこと、こうした職員の努力が一翼を担っているからではないでしょうか。

於保老健センター

当施設は平成8年4月の開設で、今春13年目を迎えます。入所は定員80名(うち認知症専門棟30名)、通所は定員20名で行っております。

「於保(おほ)」とは、当施設の位置する場所の昔の地名になります。於保村と呼ばれた地域で、その後福田町→磐田市と変わってきました。読みにくいと思いますが、現在施設をご利用になっている方々にとってはなじみ深い名前ということもあり、なんとかこの地名を残したい、と施設名に入れられました。

名前もそうですし、老健でもありますので当施設では地域との密着性をより高めたく努めております。



雑壇飾りました

さいわい

さいわいでは、生活の柱の1つである食事に様々な楽しみや工夫を取り入れています。おいしいものが豊富な秋には、目にも鮮やかな「秋の懷石膳」、古人の知恵をヒントに、季節の食材をアレンジした「薬膳懷石」など利用者様の健康を考えると共に、目、鼻、舌に嬉しい食事を心掛けて提供しています。また、利用者様との会話の中で聞かれる「とろろ汁が食べたいな」「白菜を煮たの、甘くておいしいのよね」という声を、希望献立として反映させる試みもしています。

さいわいでは、日常の生活支援やリハビリは勿論ですが、少しの時間でも利用者様に寄り添い、利用者様の傍で過ごす時間を大切にしたいと考えています。そんな時間の中で頂いた利用者様の想いをケアの中で活かしていきたいと思ひます。



すずかけの街

浜松市の中心市街地に平成9年2月に都市型複合老人施設としてオープンしました。

私達は皆様が安心して生まれ育った地域、住みなれた自宅で歳を重ねることが出来るように、より良質な看護、介護サービスを提供したいと考えています。

平成19年8月に、すずかけ病院と合同で夏祭りを開催しました。小さいお子さんを含むご家族で多数ご参加いただき、にぎやかな夏祭りとなりました。



さくらの苑

平成10年5月に開設してから10年が経過しようとしています。施設をぐるりと囲むように植えられた桜の木は開設当初は小学生位の背丈でした。今ではどの木も見上げる程の立派な木に育ち、春になると桜の花に囲まれた穏やかな美しい佇まいがみられます。当施設はJR磐田駅や野鳥が多く生息する大池にも程近い距離にあります。

入所100名、通所リハ39名、居宅介護支援事業所と福祉用具貸与事業所があり自立支援と在宅復帰をめざし、様々な生活リハビリの工夫をしています。また障害や病気を持った方々の急性期に対し、併設のクリニックの強力なバックアップを受け、慈しみの看護、介護を心がけてケアにあたっています。明るく充足された療養生活を送っていただくために、季節の行事を始め、カラオケ等のお楽しみ会、誕生会、散歩や遠足、おやつ作り教室、お寿司バイキング等職員一丸となって取り組んでいます。また幼稚園児や小学生、地域のボランティアの方の慰問や援助活動が大きな楽しみでもあります。

今後も利用者の方々のニーズを常に意識し地域の皆様には選ばれる施設を目指していきたいと思ひます。

おおふじ五幸ホーム

おおふじ五幸ホームは、平成10年4月に開設し、今年で10年目を迎えました。

ご利用者様が気兼ねなく安心して生活できる環境づくりを目指し、職員一同頑張っております。

1月8日に行われた新年会では、地域のボランティアの方が来所され、大正琴の演奏や健康体操を楽しみました。

なかでも、毎年恒例となっている「二人羽織」は、ご利用者様と職員とが息をぴったり合わせ、顔をクシャクシャにして大盛況でした。

職員手作りの獅子舞が登場すると盛り上がりはピークに達し、会場はご利用者様の笑顔でいっぱいになりました。これからも明るい雰囲気作りを大切に職員全員の質の向上を目指していきます。



袋井ケアセンター

袋井市の北部、森町一宮に近い菅間の山上に袋井ケアセンターがあります。現在入所定員100名、通所定員40名の施設です。

併設施設は、認知症対応型共同生活介護グループホーム紅葉の家定員27名があります。

当施設では、リハビリを担う理学療法士は常勤2名、非常勤3名で、利用者一人一人に合った個別リハビリ（身体機能改善、ADL改善、歩行能力向上、住宅改修アドバイス）を行い、小集団では、明るく・楽しい雰囲気の中で利用者の笑顔・健康増進に力を注いでいます。

四季ごとに緑の多い公園・神社等に車で遠足に出掛け利用者に季節を満喫してもらっています。職員一同利用者に満足して頂けるようサービスの向上に努めていきたいと思っています。



神子の園

掛川駅の北東約3kmに位置する当施設は、平成11年4月に開設し、今年で10年目を迎えます。定員は入所100名（うち認知症専門棟50名）通所60名です。また近くに「グループホームなるたき」を併設し、今年4月にはその敷地内に「デイサービスセンターなるたき」がオープンします。

当施設では、季節感を大切にした各種行事・レクリエーション・クラブ活動・食事等に力を入れています。また、毎日の散歩を取り入れており、利用者の表情も明るく豊かになっています。リハビリテーションにおいてもパワ－リハビリを導入し、機能回復や維持に努めています。

今後も全職員一丸となって、明るく活気があり安心して利用して頂ける施設を目指し努力していきたいと思っています。



はまおか

当施設は1階デイケア、2階老人保健施設、3階介護療養型となっている御前崎市総合保健福祉センターにあります。市立御前崎総合病院と隣接しており、必要時は検査・入院治療を受けることができます。

日常生活の中で、医学的管理のもとに、リハビリテーションや看護・介護の専門性を生かして、自立生活（家庭復帰）に向けてお手伝いをさせて頂いています。

平均介護度は3.5と年々高くなっており、医療を必要とする利用者も増えています。利用者毎に看護・介護計画を立て、問題点を解決させるため具体策を実践して、SOAPで記録しています。

これからも利用者が安全・安心して楽しく生活できるケアを全職員で提供していきたいと思っています。



施設から見た2008年元旦の日の出です。

まんさくの里

当施設は、平成13年4月1日に開設し、施設名の由来である「トキワマンサク」が、黄緑色の可憐な花をつける頃、8年目を迎えます。当施設の定員は、短期を含む入所100名、通所30名であります。

介護保険制度の断続的な改革の折、たいへん厳しい環境の下ではありますが、地域密着の施設として、更なる総合的なサービスの向上を目指しております。

充実したケアプランのもと、地元のボランティアの方々にもご協力をいただいている様々なレクリエーション活動は利用者の皆様にたいへんご好評をいただいております。

今後も、利用者の方々が、明るく、元気で、楽しく毎日を過ごしていただける施設を目標に、職員一同、日々努力を重ねて技術向上に積極的に取り組んでまいります。



白脇ケアセンター

当施設は、浜松市南部の馬込川を望む場所に位置し、平成14年4月に入所定員100名、通所リハビリ定員60名の施設として開設し、今年春で7年目を迎えます。



ご利用者様に施設での毎日を楽しんで頂く為に一年を通じて、様々な行事やレクリエーション、また多くのボランティアの皆様や地域住民の皆様にご参加して頂いております。

今年1月に行われた新年会では、各フロアの職員が企画し「皿回し」、「二人羽織」、「ダンス」等々ステージで披露しました。ご利用者様はもちろんご家族など大勢の方々に喜んで頂きました。写真は1月の新年会と2月に行った節分の様子です。これからもご利用者様、ご家族様が「笑顔」でご利用頂けるよう職員一同サービスを提供していきたいと思っております。



花平ケアセンター

当施設は浜松の北部に位置しており、平成20年4月で7年目を迎えます。

花と緑の街、引佐町を中心に地域密着を掲げ日々努力しております。

また、医療・介護の更なる充実に向けて、よりきめ細やかなサービスをご利用者様方に提供する為、平成20年12月には、ショート専門棟（短期入所生活介護施設）を花平ケアセンターの併設施設として開設する予定です。

その他にも引佐町井伊谷の地に医療・介護の複合施設メディカルコートガーデンを開設する準備をしており、花平ケアセンターを中心にトータル的な介護サービスを地域の皆様方に提供できます様、邁進してまいります。



ショート棟完成予想図



メディカルコートガーデン完成予想図

ケアセンター芳川

ケアセンター芳川は、平成15年10月に浜松市南東部に開設し、本年5周年を迎えます。建物は3階建てで、1階は開放的な通所デイルーム（定員40名）のほか、リハビリプールを備えています。2階、3階は入所スペースとなり、8～12名ごとのユニットケアを行っています（定員100名）。当施設では、キッチンやリビング、そして介護スタッフもユニットごとに配置するなど、施設的设计・設備、介護サービスの全てを家庭環境と同様に整えています。カラオケ大会や仮装大会など、ユニット対抗のレクリエーションも多く、ユニットの団結は見物です。ご自宅のような雰囲気のなか、親身できめ細かい介護、そして一人一人に柔軟に接する介護を目指し、これからもスタッフ一同努力してまいります。



みかたはら介護老人保健施設

みかたはら介護老人保健施設は、平成15年4月に開設し、5年目を迎えました。

暖かな日光が降り注ぐ明るい生活環境の中、医師を中心として、看護師、介護員、理学療法士、作業療法士、事務職員、厨房スタッフ等、スタッフ全員が一丸となり、利用者様の立場に立った真心のあるサービスを提供致しております。そのため、利用者様も、スタッフも、笑顔の絶えない和やかな雰囲気の施設となっております。

中でも、日々のレクリエーションは好評で、スタッフは、利用者様により楽しんで頂けるよう、日々工夫を凝らしております。これからも利用者様に、更なる満足と、質の高いサービスの提供に励んでいきたいと思っております。



あおばケアガーデン

当施設は平成16年4月に開設し、今年で5年目になります。毎日のレクリエーションや毎月の行事に力を入れ、ご利用者が楽しんでいただける施設づくりを心掛けてきました。昨年より、通所リハビリテーションでも毎月行事を計画し、1月のカラオケ大会から12月のクリスマス仮装大会まで、ボランティアさんやスタッフが一丸となり、月に2～5日ほど行っています。なかでも昨年一番盛り上がった10月行事“あおば祭り”は、ご利用者に太鼓を叩いていただき、提灯で音頭をとりながら、施設手づくりの屋台を“シッタ・シッタ”の掛け声に合わせて練りました。ボランティアさんによるひよっこやおかめも大変コミカルで、皆で心からお祭りを楽しみました。

これからも、思いやりを大切にし、笑顔でいられる心安らぐ場所の提供に努めて参ります。



▲秋祭りの様子



▲仮装大会の様子

天王介護老人保健施設

天王介護老人保健施設は、天王病院（認知症専門病院）開設当初から「心と心のふれあい」、「親切と信頼の医療」を礎に今日まで信頼と実績を生かして平成15年8月に開設しました。



入所定員100床（全認知症専門等、全個室）、通所リハビリテーション定員40名で運営しております。

各個室には障子の窓を配置するなど和の雰囲気漂わせ、全室個室化により入居された皆さん個人の主体性を尊重する事ができ、規則正しいリズムある生活を送ることによって、本来のご自分を取り戻す、そんなハード面での環境の提供もしています。



季節に合わせた行事「お花見」や「クリスマス会」、「餅つき大会」を行っており、年中行事として「ちんどん行列」も行っています。

さわだの庄

当施設は、ご家族や地域の皆様からの多大なご支援、ご協力を賜りまして、開設4年目を迎えることができました。

「おもてなしの心＝小さな心遣い＝サービス精神」を基本理念に全職員が、日々努力をしております。

通所リハビリテーションでは昨年より新たに、クラブ活動を導入致しました。毎月第3週に、手芸・書道・音楽の中から利用者様のご希望されるクラブに参加していただいております。その他にも、専属の音楽療法士による音楽療法や、プロのネイリストによるネイルボランティア等、心と身体のリハビリテーションによる心身機能の維持向上を図っております。

また、地域住民の方々や数多くのボランティアの方々のご協力を頂き、四季折々の行事の際には、趣向を凝らした演目で皆様楽しんでいただいております。

今後も基本理念の遵守と、施設の開放・地域との融合を意識した施設づくりを目指し、一層の努力を重ねていきたいと考えております。



押し花を使った年賀状作成

ネイルボランティアの様子

風の杜

私たち風の杜の4つの理念

- 1 ご利用者やご家族にやさしいサービスを目指します
- 2 常に安心なサービスと質向上を目指します
- 3 サービスをととして地域社会に貢献します
- 4 働き甲斐を感じられる環境づくりに努めます

私たち風の杜は、緑豊かな遠州森町というホームグラウンドにしっかり根を張り、地域と共生しながら、4つの理念を追求しています。そして、これからも皆様のお声に耳を傾けながら、ご満足いただけるよりよい施設づくりに努力していきます。



ナーシングホーム オンフルール

楽しかった“夏まつり”

2年目の今年も、夏まつり行事で賑わいました。紅白幕で飾られた会場には研修中の学生や施設職員たちによる、心づくしの綿菓子、かき氷や飲みものが並べられ、普段は無表情だったご利用者も、目を輝やかせて参加してくれました。

呼びものは「魚釣りゲーム」で、車イスに乗ったり、椅子から身体をのり出して、厚紙でつくられた獲物をねらう表情は真剣そのものでした。

“思うように釣れんネ”と、ため息…と思えば、見事大物を釣り上げ、大きな拍手と歓声がわき上りました。



白梅豊岡ケアホーム

白梅豊岡ケアホームは、平成18年4月に開設し、今年で3年目を迎えます。

入所定員100名(短期入所含む)、うち45名は認知症専門棟です。当施設には、療養型医療施設である白梅豊岡病院が併設されており状態急変時にも迅速な対応が可能となっております。

施設は磐田市の北西部(旧豊岡村)に位置し、浜松市からは浜北大橋を渡ればすぐに見えてきます。近くには雄大な天竜川が流れ、緑あふれる自然豊かな所です。そのような環境の中、利用者さまがより快適な療養生活を送れるようにと、看護、介護、リハビリテーションの充実。またボランティアの皆様を迎え入れ、イベント活動にご協力いただいております。

今後も利用者さまの心の声に耳を傾け、安心して生活



できる環境づくりに努めていきたいと考えております。

五 洋 の 里

まもなく2年目を迎える新しい施設ですが、遠州の空っ風にも負けず、職員一同「親切・丁寧」をモットーに日常の介護・看護・リハビリはもちろんの事ボランティアによる慰問、利用者様の趣味を生かした対応、季節ごとの行事に取り組んできました。その中で昨年の秋にご家族参加のもと大盛況を頂いた運動会について紹介させていただきます。赤組、白組に分かれ、パン食い競争や玉入れ、応援合戦等々を行いました。皆様、若い頃に戻られ普段では見ることができない表情で参加され身体を動かしていたのが印象的でした。写真は、その時の応援合戦の様子ですが、職員の音頭のもと団結した様子が伝わってくるとと思います。今後もご家族との結びつきを大切にして地域に根ざしたサービスを提供していきたいと思ひます。



県内の新設

介護老人保健施設を

紹介します。

鶴舞乃城 清水区

介護老人保健施設「鶴舞乃城」は、医療法人財団百葉の会の、2つ目の介護老人保健施設として、静岡市初の全室個室のユニット型の施設で、地域の皆様のご理解・ご協力のもと、静岡市清水区庵原町（清水インターから北へ車で約5分程）にある小高い山の中腹に平成19年4月1日開設いたしました。施設概要は、入所100名（短期入所療養介護を含む）通所リハビリテーション40名、居宅介護支援事業所を運営しております。

建物は、「白と黒」の鶴が羽をいっばいに広げた姿を思わせる外観。「和」を基調とした旅館を思わせる内観。当法人の医療・介護から学んだ、当たり前の生活ができるよう工夫を凝らした設備。「鶴舞乃城」は、「施設」というイメージを超えて、「大人がゆつくり過ごしたい」と思えるところを目指しています。

その方らしい「生活習慣」や「こだわり」を大切に、お一人おひとりの状態や目標に合わせたケアを行います。年齢を重ねれば誰にでも起こりうる心や身体の機能障害を個性ととらえ、ご本人様はもちろんご家族の皆様にも安心していただけるような介護を目指していきます。

開設したばかりです。至らぬ点が多々あると思いますが、新しい仲間として皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願いたします。



ユニケア岡部 岡部町

当施設は岡部町で三代続く無床内科診療所の三輪医院を母体とした単独型老健です。三輪医院は代々在宅医療に取り組んでいて、24時間体制の往診・訪問看護と重症者デイケアを実施していましたが、入所施設が必要となり開設しました。開設時にハード面を目指した事は、「病院らしくなく、個人の尊厳が保たれる施設」でした。結果として全室個室とユニットケアを採用しました。全室個室の良さは、素晴らしいものでした。人権尊重の基本は個室である事をあらためて感じています。さらに、看取りや感染症流行期には個室の良さがいかに発揮されています。ユニットケアの良さは、まだまだ研究中、努力中ですが、見学者の方々より「どなたも落ち着いて暮らしている」という評価も多く、効果を発揮していると考えています。

当施設の最大の特長は、死亡退所率が30%近い事です。その理由は、地域密着型医療から生まれた老健だからです。「最期まで地域で暮らしたい、施設主治医も入所前からのなじみの先生だし、入院は希望しない」というご家族が多いようです。地域密着度は、年間面会者数が2万人以上という数字に表れています。今後も地域のかかりつけ医が造った老健として発展していきたいと思っています。

「ユニケア」は私が考えた造語ですが、「たった一つのユニークなケア」という意味です。全室個室老健は今のごときユニークな存在ですが、加えて、ケアのあり方、医療・看護のあり方もユニークさを保ち続けたいと思います。



長鶴の郷 浜松市

私達「長鶴の郷」は、平成19年4月1日に産ぶ声をあげました。浜松市東部に位置し、国道一号線バイパスに隣接し、東名浜松インターより車で10分弱、JR天竜川駅からは徒歩10分。東は磐田市からも北は天竜方面、南は遠州灘方面と浜松市街地はもとより近隣の市町村からもアクセス良好な場所にあります。

利用定員は、入所100名（短期含む）、そのうち44床は認知症専門棟。通所リハビリテーションは定員40名です。

一年目は無我夢中で過ぎていったというのが実感です。こんな未熟な私共の施設ですが、たくさんの方々に御利用いただきました。二年目の目標は、御利用者様その御家族の皆様に「長鶴の郷」に会えてよかったといっていたただける施設作りを一步一步確実に成長していくことです。



御利用者様の笑顔が一番の喜びと感じ、皆様は昨日より今日、今日より明日と生きる喜びを実感していただけますよう職員一丸となって尽力していきたいと考えております。

また私共の施設をご利用いただかなくとも、何か介護のことで悩むことがあれば、お気軽にお問ひあわせいただきたいと思います。介護は御本人のみならず、ご家族の方々の力になるためのものでもあるからです。そして私達はそのプロですから、地域の皆様に頼られる施設でありたいと思います。

老健一年生の私共ですが、志を高くがんばります。どうぞよろしくお願い致します。

あらたま 浜松市

「あらたま」は平成18年9月に開設しました。施設名は万葉集に由来する地名ですが、その語感では周囲のゆつたりとした田園と、そこに暮らす人々に溶け込むことを願う施設の名にふさわしい響きを持っていると思います。

浜松市浜北区152号線と天竜浜名湖線宮口駅の間に位置し、移転後の浜松赤十字病院、天竜病院、浜松北病院に近く、医療協力体制に恵まれた施設です。地域の皆さんとの交流も、演芸・遠足等のボランティアさん、小中学校のふれあい体験の生徒さん等徐々に広がっています。

また、お花見、納涼会、忘年会など御利用者様の生活面の楽しみにも力を注いでいます。



利用定員は一般入所40人、認知症入所40人の合計80人（短期入所を含む）と通所リハビリ20人。

小さな施設ですが「一人ひとり個人に与えられた境遇、人生、人格を尊重して、お互いを助け合う互助、互恵の精神をもって、誠実に御利用者の皆様方と接し、又職員同志の和を貴び、信頼と協力によって医療・福祉の向上に寄与する」という大きな理念を掲げ、職員一丸となって取り組んでおります。



看護・介護部会

職員教育、リスクマネジメント、身体拘束廃止、感染対策とテーマ別にグループワークを行いました。

一つ一つが大きなテーマであり、どのテーマにも関心があるようで一つでなく他のグループにも参加したいと言う声が聞かれるほどでした。職員教育では、退職、採用と出入りが多く十分な教育が出来ない、ケアの質の低下に繋がる為、どのように指導したらいいか。リスクマネジメントのグループでは転倒による骨折事故を起こさないようにするにはどうしたらいいの、身体拘束はしたくない。でも……。感染対策として日ごろ何をすればいいのかと具体的な課題が多く出ていました。自施設の課題を解決するにはどうしたらいいの、一生懸命頑張っているのに成果が出ない、これでいいのだろうかと思いを失いかけている者、いい方法が見つからない、もっといいケアを提供するにはどうしたらいいの、何とかしたいと言うジレンマに陥っている者と、それぞれの施設の様子は違いますが、一人ひとりが何か持ち帰りたいと問題意識を持ち、解決策や次のステップに繋がる糸口を模索している為か、グループワークでは活発な意見やアドバイスを飛び交いました。外の風を少し入れ、新たな知恵や方法でマンネリズムから脱出が出来そうと研修を受ける前と後では顔つきが変わって見えました。

予定の時間では足りないと言った声が多くありましたが、今度は職場でそんな皆さんの思いをいつまでも持ち続けて頑張っていたきたいと考えています。

リハビリ部会

寒さも一段と厳しい2月16日(土)、浜松市勤労会館にてリハビリ部会研修会を開催し、29施設36名の参加を頂きました。

昨年度のアンケートでは、少人数の職場で日々の業務に追われ研修にも行けない、情報が得られない、相談先もない、不安のまま仕事をしている、他施設の状況を知りたい、といった意見が寄せられました。そのため今回は「ほかの施設はどうしてるのか？」をテーマに小グループでの情報交換や相談、意見交換を行いました。話し合った内容はリハ関連加算の算定状況、計画書の同意の取り方、業務上の疑問といったことです。最後に各グループから話題になったことを発表して頂きました。



併設病院や診療所と兼務しており目の前の利用者様をこなすので精一杯、リハビリの施設でありながら療法師の数が少なく手が回らない、加算取得まで手が回らない、そもそも加算の算定条件を満たせない、等々はじめは緊張気味でしたが各グループとも話が尽きることが無かったようです。一方、苦労話のみならず、計画書やカルテの書式、運用方法など工夫している施設もあり、参考や刺激にもなりました。

どの施設でも悩み、苦労、疑問が大なり小なり有ながらも、利用者様のためにできる限りの事を行っていることに違いはなく、共感しあえたのだと思います。研修会に参加・協力して下さった皆様、ありがとうございました。

栄 養 部 会



平成19年度の栄養部会が、静岡市労政会館にて平成19年11月5日に、49施設63名、又平成20年2月15日には、静岡県男女共同参画センターあざれあにて32施設44名の参加を頂き、二回にわたって開催されました。

第一回の栄養部会では、「栄養ケア・マネジメント取組みの問題点」という表題のもと、グループワーク形式で話し合いが行われました。各グループとも活発な意見交換が行われ、ケア・マネジメントにおいて日々抱えている悩みや実務内容等、各施設の意見を聞く事ができ、とても貴重なものとなりました。

第二回の栄養部会では、「わたしの施設の自慢行事食・郷土食紹介」と「施設情報交換」を行いました。各施設から様々なレシピを紹介して頂き、料理の試食会も合わせて行いました。楽しい雰囲気の中、和やかに意見交換をする事ができました。最近では中国の冷凍餃子をきっかけに、様々な食の安全性が問われ、私達を取り巻く環境も厳しいものとなっています。今回の栄養部会でも、利用者の方々により良い食事提供をしていく為に、どのような工夫をしたら良いのか話し合われました。栄養ケア・マネジメントとともに、安全で美味しいものを提供する事の難しさをもう一度しっかり確認していかなければいけないと感じました。

これからも他施設と交流をもちながら、個々のニーズに応じた質の高い食事提供と栄養ケア・マネジメントを目指し頑張ってまいります。



第二回栄養部会で頂きました

「わたしの施設の自慢行事食・郷土食」のレシピを
次ページよりご紹介致します

皆様の施設でご参考にして頂ければ幸いです。



味噌チキンカツ（まんさくの里）

【材料】
鶏モモ肉(皮なし) 70g
塩 0.1g
こしょう 0.03g
小麦粉 3.5g
卵 5g
パン粉 5g
油適量
(A)赤味噌 2.5g
白味噌 5.5g
上白糖 3g
油 1g
ウスターソース 1g
しょうゆ 0.1g
トウバンジャン 0.1g
水 10g

【調理方法】

- ①鶏モモ肉に塩、こしょうで下味を付ける
- ②①に小麦粉、卵、パン粉の順で衣を付ける
- ③(A)の調味料を合わせ、味噌だれを作る
- ④③の鶏肉を油で揚げ、熱いうちに(A)の味噌だれにくぐらせる
- ⑤粗熱が取れたら食べやすい大きさに切り、付け合わせと一緒に盛り付ける



行事食

節分ご飯（まんさくの里）

【材料】
精白米 70g
だし昆布 0.3g
塩 0.4g
酒 1.0g
大豆(乾) 12g
しょうゆ 1.3g
しらす干し 10g
三つ葉(1cm) 1.5g

【調理方法】

- ①大豆をもどし、軟らかくなるまで下茹でする
- 三つ葉を切り、さらす
- ①をフライパンに入れ、しょうゆとからめて香りと下味を付ける
- ③だし昆布、調味料と共にご飯を炊く
- ④炊き上がったご飯に、②の大豆としらすを混ぜ、三つ葉を散らす

炒り豆ご飯（楽寿）

【材料】(1人分)
精白米 70g
干ししらす 5g
炒り大豆 5g
油揚げ 3g
人参 5g

【調理方法】

- ①米を研ぐ
- ②油揚げと人参を適当な大きさに切る
- ③精白米と具を炊飯器に入れ、適度に味付けを行い、炊き込む

調味料
(薄口しょうゆ、酒、塩、顆粒風味調味料) 適量
★水→水の分量は調味料込1.6倍(米の1.6倍)

桜色ごはん（ケアセンター池田の街）

【材料】
米
和風だし
塩
料理酒
桜の葉の塩漬け
食紅

【調理方法】

- ・研いだお米に和風だし、塩、酒で味付けし食紅を入れて炊く
 - ・桜の葉の塩漬けはこまかく刻んでおき、炊けたごはんには混ぜる
- ピンクの色あいと、桜の葉の香りが春にぴったりです
お花見の時等に出すと喜ばれます

大豆サラダ（エーデルワイス）

【材料】
茹大豆 20g
枝豆さやなし 15g
きゅうり 10g
玉ねぎ 5g
コーン 5g
中華ドレッシング 1g
淡しょうゆ 2g
みりん 1g

【調理方法】

- ①茹大豆、枝豆を熱湯に通す
- ②きゅうりの輪切り、玉ねぎスライス、コーンを熱湯にさっと通す
- ③水気を切った①②を中華ドレッシングとしょうゆ、みりんで和える

チキンライス（サンライズ大浜）

【材料】
米 70g
バター 0.5g
チキンコンソメ 1g
とり小間 40g
玉ねぎ 20g
人参 10g
油 1g
ケチャップ 15g
塩 0.3g
コショウ 0.03g
グリーンピース 3g

【調理方法】

- ①米にバター、コンソメ、塩で味をつけて炊く
- ②とり小間、玉ねぎ、人参を油で炒めて、ケチャップ、塩、コショウなどで、味をつけととのえる
- ③炊き上がった米に②を混ぜ合わせる
- ④グリーンピースをかざって出来上がり

紫陽花焼売（ひろみ）

【材料】
豚ミンチ 40g
玉葱 10g
卵 3個
片栗粉 0.1g
塩 0.4g
こしょう 0.02g
もち米 30g
大葉 1枚

【調理方法】

- ①豚ミンチとみじん切りにした玉葱・卵を合わせこねる
- ②塩・こしょうで味を整える
- ③食紅で赤、黄、緑に色付けしたもち米を形を整えた肉団子の周りにつける
- ④下に大葉(盛り付け時)をつけ、紫陽花にみたてる

太巻き（エーデルワイス）

【材料】
米、酢、砂糖、塩
かんぴょう 2g
しょうゆ 1.5g
砂糖 1g
刻みたくあん 10g
きゅうり 12g
桜でんぶ 3g
カニスティック 15g
きざみのり 10g

【調理方法】

- ①巻きの上にラップを敷き、のり巻きを作る要領でごはんを広げる
- ②中央にかんぴょう、刻みたくあん、きゅうり、桜でんぶ、カニスティックを置き、巻くとラップを使って太巻きをつくる
- ③バットにきざみのりを広げて太巻きを転がす
- ④太巻き1本を8つに切り分けて盛りつける

とろろスフレ（フォレストアサギ）

【材料】
冷凍とろろ芋
卵
人参
ピーマン
ピザ用チーズ
料理酒
みりん
塩

【調理方法】

- ①人参、ピーマンはみじん切りし、茹でて火を通し冷水で冷めます
- ②とろろ汁、卵などの他の材料をすべて混ぜ合わせ、やや深目のホテルパンに流します
- ④150℃で20分間焼き上げ出来上がりです

カレーうどん（あかつきの園）

【材料】
乾うどん 55g
豚もも薄切り 30g
なると 10g
太葱 45g
人参 10g
生しいたけ 10g
グリーンピース 25g
だし汁 2.5g
しょうゆ 1.5g
みりん 1.5g
カレー粉 1.5g
かたくり粉 1.5g

【調理方法】

- ①人参・短冊切り
- ②太葱・斜め切り
- ③なると・細切り
- うどんをゆでる
- すべての材料がやわらかくなったら、調味料を加える
- ゆで上がったうどんを器に入れ、スープを入れる

細巻き（みかたはら介護老健）

【材料】
(酢飯)
米 70g
酢 5g
砂糖 4g
塩 1g
厚焼玉子 15g
胡瓜 15g
味付かんぴょう 5g
焼きのり 1枚半で2人前

【調理方法】

- ①酢飯を作る
- ②胡瓜は千切り、厚焼玉子は1cm角にし、のりと同じ長さにする
- ③すだれにのり、酢飯、具をのせ巻き、一口大に切る
- ④皿にもりつける

鮭寿司（あかつきの園）

【材料】
米 55g
酢 10g
砂糖 6g
塩 1g
鮭フレーク 25g
高菜漬け 5g
炒りゴマ (かざり)
炒り卵 3g
砂糖 0.2g
塩 0.2g
人参 だし、醤油

【調理方法】

- ①高菜漬け・みじん切り、人参・花型
- ②①にゴマ、鮭フレーク、高菜漬けを加える
- ③で上がった寿司に、花型に抜いた人参(だしとしょうゆで味つけ)と、炒り卵を飾る



商品名 タカネ

調理名 寿司ケーキ (主食)



海鮮丼 (ケアセンター芳川)

【材料】	【調理方法】
スシメシ	①炊きあがったご飯に調味料を加え、寿司飯を作っておく
米……………70g	②まぐろはしょうゆとみりんにつけにし、スシエビは酢に漬けておく
酢……………5g	③寿司飯の上に厚焼玉子、まぐろのづけ、スシエビ、かにかま、刻みのり、しそ、がりを盛り、完成させる
さとう……………4g	
厚焼玉子……………50g	
まぐろ……………20g	
しょうゆ……………3g	
みりん……………1g	
スシエビ……………20g	
かにかま……………30g	
刻みのり……………1g	
しそ……………1g	
がり……………15g	

鉄火丼 (かりん)

【材料】	【調理方法】
米	まぐろをたれに40分位つける
酢	(たれ:しょうゆ1・みりん1)
砂糖	↓
塩	酢飯に青のり、いりごまをのせ、つけて
マグロ	おいたまぐろをのせ、青ネギを散らす
たれ(醤油、みりん)	↓
青のり	甘酢生姜ものをせる
いりごま	
甘酢生姜	
青ネギ	



大豆ごはん (白梅豊岡ケアホーム)

【材料】	【調理方法】
米……………60g	①ゆで大豆はスチコンで1度蒸す
酒……………5g	②米に①のゆで大豆、酒、塩を入れて炊く
塩……………0.5g	③菜飯の素を混ぜる
ゆで大豆……………30g	※大量調理の為、菜飯の素を使用した方が香りも良い
菜飯の素……………5g	大根の葉を使用した方が香りも良い
(又は大根の葉をゆでて刻む)	

ひじきサラダ (ケアセンターゆうゆう)

【材料】	【調理方法】
a. 芽ひじき(乾)……………3g	①(a)の材料でひじきの煮付けを作り、冷ましておく
人参……………10g	②冷えた①に線切りにし茹でた胡瓜を加え、マヨネーズで和え、塩で味を整える
醤油……………4g	
砂糖……………2g	
胡瓜……………10g	
マヨネーズ……………10g	
塩……………0.5g	

チーズ入厚焼玉子 (エーデルワイス)

【材料】	【調理方法】
ベーコン……………10g	①ベーコン、玉ねぎを1cm角くらいに切って炒める
卵……………40g	②卵、チーズ、ミックスベジタブル、コンソメを加えて半熟状になるまで炒める
玉ねぎ……………10g	③鉄板に2〜3センチの厚さになるよう②を入れてオーブンで250℃で20分くらい焼く
サイコロチーズ……………10g	
Mixベジタブル……………10g	
コンソメ……………1g	



里芋ごはん (おおひら)

【材料】	【調理方法】
米……………70g	①里芋はいちょう切り、大根は短冊切り、大根の葉は細かく切っておく
里芋……………35g	②お米と切った材料、調味料を合わせて炊く
大根……………25g	③炊き上がった後、大根の葉といりごまを入れて、よく混ぜる
大根の葉……………8g	
ちりめんじゃこ……………2g	
いりごま(黒)……………0.2g	
(調味料)	
顆粒だし……………0.3g	
白みそ……………8g	
濃口醤油……………2g	
料理酒……………2.5g	

蛙の親子丼 (河津おもと苑)

【材料】	【調理方法】
a. 米……………70g	①(a)で酢飯をつくる
酢……………8g	②(b)のオクラスライスは塩ゆで、錦糸たまごは蒸し器で蒸し、塩蛙は焼いてフレイク状にし、冷ます
上白糖……………6g	③①の上に②と(c)をのせてできあがり
塩……………0.7g	※醤油を好みでかけて下さい
b. オクラ(スライス)……………50g	
錦糸たまご……………10g	
塩蛙フィール(蛙フィールでも可)……………30g	
c. 長芋とろろ……………50g	
イクラ……………10g	
きざみのり……………0.5g	
しそ(葉)……………1.0g	
しょうが甘酢……………10g	
※しょうゆ……………6g	

寿司ケーキ (タカネ園)

【材料】	【調理方法】
米……………70g	①野菜は適度な大きさに切り、調味料で煮ておく
(寿司酢)	②寿司酢と米を混ぜ、さらに①といりごまを混ぜる
だし昆布……………0.3g	③ケーキの型に②のご飯をつめて押し、その上に蛙フレークをしきつめて更に押す
砂糖……………7.5g	④③の上に千切りにしたしそとイクラを散らす
酢……………9.0g	
塩……………1g	
人参……………9g、椎茸……………10g	
干瓢……………1.4g、蓮根……………10g	
顆粒だし……………0.1g	
砂糖……………1g、正油……………1g	
いりごま……………0.5g	
蛙フレーク……………10g	
イクラ……………3g、しそ……………0.5g	
甘酢生姜……………10g	

まぐろのピーナッツ和え (おおひら)

【材料】	【調理方法】
まぐろのたたき……………30g	①まぐろのたたきはサイコロ状に切っておく
菜の花……………25g	②菜の花は茹でて絞っておく
(調味料)	③調味料を混ぜたら、まぐろと菜の花を入れて和える
粉末ピーナッツ……………2g	
濃口醤油……………3g	
砂糖……………1.5g	
粉からし……………0.01g	
みりん……………1.5g	

つくねの甘ダレ (西山ウエルケア)

【材料】	【調理方法】
鶏肉	①パン粉に牛乳・卵を入れ、鶏ミンチをよく混ぜ合わせる
ひじき	②ひじきはうす味で炊いておく
牛乳	③①と②を混ぜ合わせる
パン粉	④③を整形し、ゆでる
	⑤肉がゆだったらタレとからめる

大豆御飯(節分) (芙蓉の丘)

【材料】	【調理方法】
米……………70g	米は洗ひ材料と調味料を入れ炊き上げる
大豆水煮……………20g	
しょう油……………2g	
酒……………3g	
塩……………1g	
風味調味料……………0.2g	



かじきのパン粉焼き (ケアセンター瀬名)

【材料】	【調理方法】
かじき……………50g	①かじきに塩、こしょうをふる、おろしにんにくを入れからめる
塩……………0.3g	②パン粉と粉チーズを混ぜ、①の魚に付ける
こしょう……………0.01g	③②を焼く(180℃ 15分位)
おろしにんにく……………1.0g	
パン粉……………5g	
粉チーズ……………1g	
バター……………3g	
油……………1g	
(付け合わせ)	
トマト……………25g	
ブロッコリー……………30g	
マヨネーズ……………7g	

郷土食

椎路の里で収穫したかぼちゃで作った パンプキンコロケ（椎路の里）

【材料】	【調理方法】
かぼちゃ 玉ネギ 豚挽 塩・コショウ 小麦粉 パン粉 油	①かぼちゃをむいてつぶす ②玉ネギ、豚挽肉をいため、塩・コショウで味をつける ③①②をまぜ合わせ形をつくる ④③に小麦粉、卵、パン粉をつけ油で揚げ

枝豆スープ（なかよし）

【材料】	【調理方法】
むき枝豆……20g シチューの素……8g コンソメ……1g 牛乳……10ml 食塩……0.2g こしょう……0.1g	①冷凍の枝豆をゆでて、ミキサーにかける ②①と水をなべであたため、煮立ったらシチューの素とコンソメ、牛乳を加える ③最後に塩、こしょうで味をととのえる

金目鯛の煮付け（ヒューマンライフ富士）

【材料】	【調理方法】
金目鯛 さとう 正油 酒 みりん	調味料を混ぜ、だし汁を作った中に金目鯛を入れ煮る 付け合せをもちつけ、できあがり

呉汁（ごじる）（於保老健センター）

【材料】	【調理方法】
里芋……10g 大根……15g 人参……10g 油揚げ……5g 葉ねぎ……3g 豆乳……100cc 赤色辛みそ……7g いりこだし……1.5g だし汁……50cc	①具材を堅い順からよく煮て、最期に豆乳とみそを合わせて煮ます 豆乳をつかい、なめらかで大豆イソフラボンもとれて、とても寒い時期は体が暖まります

枝豆入り茶飯（ケアセンター池田の街）

【材料】	【調理方法】
米 和風だし 塩 料理酒 抹茶入り玄米茶 むき枝豆 塩	・抹茶入り玄米茶を煮出しておく ・研いだお米に玄米茶、和風だし、塩、酒を加え炊く ・炊けたごはん塩ゆでした枝豆を混ぜる

おでん（静岡風）（ケアセンター芳川）

【材料】	【調理方法】
大根……60g 卵……1/2ヶ 黒はんぺん……1枚 さつま揚げ……1枚 なると……20g おでんの素……1.0g かつおぶし……0.5g 青のり……0.1g 練りがらし……適量	①各材料を味がしみこむまで、じっくりと煮る ②器に盛りつけ、かつおぶしと青のりをかけて練りがらしをそえる

金目鯛かぶら蒸し（ふれあいの下田）

【材料】（1人分）	【調理方法】
金目鯛……60g 食塩……0.2g 料理酒……5g かぶ……60g (a)卵白……5g しょうゆ……0.9g 食塩……0.1g 片栗粉……1.5g 人参……8g 絹さや……3g	①金目鯛は塩をして、酒をふりかける ②人参が皮をむいてごく細い千切り、絹さやも筋を取って千切りにする ③かぶは皮をむいてすりおろす ④③に(a)を加えてよく混ぜ、②を加えてざっくり混ぜる ⑤金目鯛に④のをのせ蒸す、好みでわさびを添える

しらす御飯（於保老健センター）

【材料】	【調理方法】
米……60g こんぶ……0.5g わかめ御飯のもと（花むすび）……0.8g 人参……2g しらす干し（福田特産）……5g いりごま……0.5g	①御飯をこんぶで炊く ②千切りにした人参をゆでておく ③できあがった御飯に、わかめ御飯のもと、人参、しらす干しをまぜあわせて盛り付けの器にいりごまをかける

沼津の鰯の干物寿司（椎路の里）

【材料】	【調理方法】
鰯の干物 人参 干椎茸 青じそ いりごま 玉子 刻みのり さやいんげん 甘酢生姜 酢、砂糖、塩	①鰯の干物は焼いてほぐしておく ②人参、干椎茸はしょうゆ、さとう、みりんで煮る ③青じそはせん切り、さやいんげんもななめのうす切りにする ④ごはんにし酢を混ぜ、鰯の干物、人参、干椎茸の煮たもの、いりごま、青じそを入れて混ぜる ⑤上に錦糸玉子、ゆでたさやいんげん、刻みのり、甘酢生姜をのせる



提供所 椎路の里
調理者 椎路の里で収穫したかぼちゃで作ったパンプキンコロケ（郷土料理）（主菜）

鰻柳川風（白梅ケアホーム）

【材料】	【調理方法】
鰻蒲焼き……40g 牛蒡……30g 根菜葱……10g 人参……10g 糸コンニャク……10g だし汁 (a)三温糖……2g 濃口醤油……5g みりん……2g 鶏卵……30g 根みつば……2g	①牛蒡、人参、糸コンニャクをだし汁と(a)の調味料で煮て、根菜葱、鰻蒲焼きも入れます ②とき卵を入れて、みつばを散らして、少し加熱したら出来上がりです

さつまあげ（タカネ園）

【材料】	【調理方法】
鰯のすりみ……40g 絹ごし豆腐……10g 牛蒡……12g 人参……10g 根菜葱……15g 生姜……1.5g 味噌……0.8g 酒……1.0g 片栗粉……3.0g 油……5.0g	①豆腐を水切りにしておく ②野菜は、やわらかくゆでておく ③①②とその他の材料をよく混ぜる ④適度な大きさに丸めて、油で揚げる

里芋のクリームシチュー（きよみの里）

【材料】	【調理方法】
君鶏こま……20g 人参……15g 玉ねぎ……45g しめじ……10g 里芋……50g いんげん……20g シチューミックス……12g 牛乳……40cc サラダ油……2g 塩……0.2g こしょう……0.1g	①野菜を一口大に切る ②鶏肉と人参、玉ねぎを炒め、しんなりしたら水を入れて煮込む ③②の野菜がやわらかくなったら、しめじ、里芋、いんげんを加えて煮込む ④シチューミックスを入れて、とろみがつくまで煮込む ⑤牛乳を加えて、塩、こしょうで味を整えてできあがり

鰻散らし（白梅ケアホーム）

【材料】	【調理方法】
米……60g、酢……10g 上白糖……7g、塩……0.5g 竹の子、油揚げ、人参、乾し椎茸を(a)の調味料で煮ます 油揚げ……3g、人参……10g 乾し椎茸……1g (a)三温糖……1g、みりん……1g 濃口醤油……2g (b)酢……3g、上白糖……3g 塩……0.1g 蓮根……10g、錦糸卵……20g 自家製でんぶ……10g うなぎ蒲焼き……40g サヤえんどう……5g、塩	①寿司飯を作ります ②竹の子、油揚げ、人参、乾し椎茸を(a)の調味料で煮ます ③蓮根は薄切りにし、茹でてから(b)の調味料に漬けておきます ④寿司飯に②を混ぜ合わせたものを井ぶりに盛りつけし、その上に蓮根の薄切りを全体に散らし、錦糸卵、でんぶ、鰻蒲焼き、茹でたサヤえんどうをきれいに盛りつけて出来上がりです。

金目鯛のかぶら蒸し（コミュニティケア吉田）

【材料】	【調理方法】
金目鯛……60g (当施設では皮が詰まりの原因になり得るため削がした物を使用しています) かぶ……15g 大根……10g 卵白……5g 椎茸……3g (添え物) 人参……6g 絹さや……3g	①金目鯛は塩、酒で下味をつける ②かぶと大根は、おろして蒸し器で軽く水分を切る ③椎茸は刻んで下煮しておく(酒、うすくち醤油で下味) ④①の金目鯛を蒸し器で角が立つまで泡立てる ⑤卵白をホイッパーでさっくり混ぜて ⑥②に③を合わせて⑤もへらで蒸し上げる ⑦④にこんもりと盛り、蒸し器で蒸し上げる ⑧だし汁に酒、みりん、うすくち醤油、塩で跟あんを作る(片栗粉で少々強めにとろみをつける) ⑨⑧を器に盛り、跟あんをかけ、下煮しておいた人参と塩茹でした絹さやを添える

きすのけんちん蒸し（ケアセンター瀬名）

【材料】	【調理方法】
開ききす……30g しほり豆腐……45g 干椎茸……0.5g 人参……15g キヌサヤ……3g 砂糖……1g 塩……0.3g、卵……10g (あん) 出汁……30g しょうゆ……2g みりん……2g 片栗粉……2g 大葉……0.5g 練りわさび……3g	①開ききすを酒につけこむ ②干椎茸、人参をカッターにかけ、砂糖と塩の汁で煮る……さます ③②にしほり豆腐とキヌサヤ、卵を混ぜ砂糖、塩を入れさらに混ぜる ④③を長方形にし、その上に開ききすのせ 180℃20分位蒸す ⑤あんをかけ、大葉と練りわさびを付ける

ロコモコ（ケアセンターひまわり）

【材料】	【調理方法】
ハンバーグ (ロコモコソース) たまご ほうれん草 玉葱 青ピーマン 赤ピーマン 黄ピーマン	・たまごは炒りたまごにする ・ほうれん草・玉葱、ピーマンを炒める(中華スープ) 月1回、喫茶コーナーを実施 手作りのおやつを一品提供しています 飲み物もコーヒー、紅茶、ジュース類からえらべます

黒ごま寒（楽寿）

【材料】

黒ねりごま …… 2.5g
粉寒天 …… 0.25g
牛乳 …… 62.5g
砂糖 …… 6.25g

【調理方法】

- ①黒ねりごまを少量(分量内)の牛乳で溶く
- ②①と牛乳と寒天を入れて、寒天を煮とく
- ③砂糖を入れて溶かす
- ④冷やし固める

おやつ

ソースあんかけ焼そば（かりん）

【材料】

焼そば用鶏
豚スライス
油
キャベツ
玉葱
人参
ウスターソース
中濃ソース
中華だし
片栗粉
水

【調理方法】

- 焼そばを蒸す
↓
豚スライス、キャベツ、玉葱、人参を切る
↓
鍋に水を入れ具をゆで、ソース・だしで味を
つけ、片栗粉でとろみをつける

二色ゼリー（サンライズ大浜）

【材料】

牛乳 …… 25g
生クリーム …… 15g
砂糖 …… 8g
100%オレンジ
ジュース …… 30g
ゼラチン …… 1.5g

【調理方法】

- ①材料を全部混ぜ合わせ、火にかける
- ②微沸騰してきたら火を止めて、型に流し入れる
- ③冷めると、きれいに2色に分かれます

紫陽花ゼリー（ひろみ）

【材料】

青りんごゼリー
…………… 7g
ぶどうゼリー
…………… 7g
水 …… 各30g

【調理方法】

- ①青りんご・ぶどうゼリーをそれぞれ別々につくる(粉末と水を合わせるのみ)
- ②冷蔵庫で冷やし固める
- ③固まったゼリーを正方形に切る
- ④正方形のゼリー各2つずつを色を対称になるように盛り付ける

熊本県の高菜めし（葵の里）

【材料】

米
高菜漬
ごま油
(冷) いり卵
(冷) 菜大根
すりごま (白)
醤油

【調理方法】

- ①ご飯を炊く
- ②高菜を細かく切る
- ③高菜と菜大根をごま油で炒め、すりごま・醤油で味をつける
- ④①に③といり卵を混ぜる

スイートポテト風（みかたはら介護老健）

【材料】

さつまいも …… 55g
砂糖 …… 10g
バター …… 5g
ホイップクリーム

【調理方法】

- ①皮をむいたさつまいもをコンビオーブンでふかす
- ②いもをフードカッターにかけつぶす
- ③②を鍋にうつし、砂糖とバターを入れ混ぜる
- ④アイスクリームディッシャーで皿に盛り付け、上にホイップをしぼる

桜エビのかき揚げ天ぷら（西山ウエルケア）

【材料】

桜エビ
玉ネギ
人参
みつば
小麦粉
卵
水
塩
こしょう

【調理方法】

- ①小麦粉、卵、水で天ぷら粉を作る
- ②①へ材料を入れよく混ぜる
- ③175℃～180℃の油で揚げる

宮崎県の子キン南蛮（葵の里）

【材料】

鶏もも肉
塩
料理酒
片栗粉
サラダ油
醤油
酢
砂糖
卵
マヨネーズ
ピクルス

【調理方法】

- ①鶏肉を、塩・酒に漬けておく
- ②ゆで卵を作る
- ③鶏肉に片栗粉をまぶし、油で揚げる
- ④ゆで卵を細かくきざみ、きざんだピクルスとマヨネーズで和える
- ⑤醤油・酢・砂糖を合わせる
- ⑥③を⑤に漬けて、皿に盛った後、上に④をのせる

パウンドケーキ（あすなろ） （利用者様と一緒に作る）

【材料】100人分

ホットケーキミックス
…………… 20袋
卵 …… 20個
生クリーム
…………… 2L
2種類作る
マーマレードジャム
…………… 800g
紅茶の葉(細かく刻む)
…………… 10袋
(ティーパック)

【調理方法】

材料を混ぜ合わせ、クッキングシートを
ひいた天板に流し入れ、25分蒸し、5分焼
く(145℃)



施設名 椎路の里

調理名 ひなまつり なめらか3食プリン
(行事食) (おやつ)

桜エビ入りのめきそば（芙蓉の丘）

【材料】

うどん(ゆで) …… 230g
干桜エビ …… 3g
小麦粉 …… 8g
卵 …… 3g
しょう油 …… 18g
酒 …… 15g
みりん …… 12g
風味調味料 …… 0.5g
葱 …… 6g
なると …… 10g
ほうれん草 …… 20g

【調理方法】

小麦粉、卵、桜エビを混ぜ、揚げて、揚げ玉
を作る麺とつゆを入れた器へ揚げ玉、葱、
ほうれん草、なるとを盛る

ひなまつりなめらか3食プリン （椎路の里）

【材料】

生クリーム
牛乳
卵黄
ゼラチン
さとう
いちご
まっ茶

【調理方法】

- ①ゼラチン水を水でふやかす
- ②なべに牛乳、生クリーム、砂糖を入れる、
中火で温め沸騰直前で火を止める
- ③ボールに卵黄を溶きほぐし、②を少しずつ
加えて混ぜ合わせる
- ④③をなべに入れ中火にかけ沸騰させない
ようにし、とろみがついたら火をとめ①の
ゼラチンを入れ余熱で溶かす
- ⑤こし器を通してボールに移し替える
- ⑥うらごしいちご汁、とかしたまっ茶、
そのままのもの3つに分ける、3層になる
ように器に入れる
(少し固まったら次のものを3層にする)

ヨーグルトケーキ （ナーシングホーム オンフルール）

【材料】

ヨーグルト …… 20g
a.小麦粉 …… 8g
ベーキングパウダー
…………… 2g
砂糖 …… 6g
干しぶどう …… 2g
たまご …… 17.6g
バター …… 4g
レモン …… 5g

【調理方法】

- ①(a)を合わせて、1度ふるっておく
ブラムは刻み、卵は溶いて、バターは
レンジで30秒加熱する
- ②卵、バター、レモン果汁、ヨーグルトを混
ぜ合わせ①の粉をさっくり混ぜる
- ③型に②を流し入れ、レーズンをのせて、
200度のオーブンで10分加熱する



施設名 椎路の里

調理名 沼津の鮭の干物寿司 (郷土料理)

職員研修レポート

他施設の概要や取り組みを聞くことができて老健のイメージが広がりました。一方、対利用者という面では“老健だから”ということではなく、やはり基本的なことは同じで、その人についてしっかり評価し考えることが大切だと再確認しました。特に長期入所されている方だと、それがあたり前になっていることも、しっかりと目をむけて原因や対策を考えることで変化し、常に「あたり前」の関わりの中にも気づきを求めていかなければいけないと感じました。

全体を通して、現在はやっていない、今後断続・定着させていくという段階の発表もありましたが、それぞれの取り組みは、利用者の希望に応えたい・改善を図りたいという所から始まっており、それを他職員・他職種と分け合ってその人について皆で考えて皆で関わっていくというチームアプローチが印象に残っており、忙しい業務の中ですが、落ちついて1人の人についてみんなで話をする所からでもやれたらいいと思いました。

レーダーチャートを使って利用者の状況をチームで把握、カンファレンスに活用したりケアに活かしていくことで職員の意識も向上していった。利用者を理解し、より良いケアを考える事は利用者の方がより良い生活を送ることにつながるだけでなく、介護職の人に自分の仕事に対する誇りと喜びにもつながっていくことになり、その事がより一層、ケアの質を高めていく事になるといえる。今回の発表会より、より良いサービスは利用者だけでなく介護をする人間の意識をも変えていくものであり、そこには人間対人間という関係は切っても切り離せないものだと思つた。

他の施設もかかえている問題は同じ点が多く、とても共感できるものばかりでした。危機管理を持って事故を未然に防ぐという点について、新人職員とベテラン職員の意識の差が大きく、日によってはヒヤリや事故が多くムラがあつて困るという点も各施設状況はいろいろでした。現場の職員配置や、業務内容等の見直し等も大きなテーマ。リスクマネジメントとは、介護技術以前に、職員一人一人が危機管理の意識を持って仕事をしているか？という点が一番重要であると考えます。他の職種でも同じと思いますが、起こりうる最悪の事態を常に考えて行動していくということが、よりよいリスクマネジメントに繋がっていくと思います。

たくさんの施設の発表を聞き、心と心で向き合う介護の大切さや長い間経験してきたことを語り合い共有することにより、その人らしい生活を送れること、発表すべてが勉強になりました。ありがとうございます。

他職種と連携を取り、チームワークの大切さを改めて知り、個別的な介護を行う事によって不可能と思われていたことも可能に近づけるといふ事がわかりました。自分達の気づけなかったことを司会進行の方が気づかせてくれたことが多々ありました。今日学んだことを、施設で生かしていきたいと思つます。

実習生・職場体験学習のレポート

現場の厳しさを痛感

実習をさせて頂き最初に感じた事は、施設内の緊張感、職員の方たちのきびきびとした動作、各担当の方の仕事内容の多様性で驚きとまどいの連続でした。一人一人の利用者さんの状態を把握し、できる限り本来の生活に戻って頂くよう仕事をする介護の現場の厳しさを痛切に感じました。

未知の体験を実感

私は、この職場体験を通して、とても多くのことを学ぶことができました。始めは、とまどいと緊張で思うようにできませんでしたが、施設の方がとても優しく一つ一つの事を丁寧に教えて下さったので、だんだんできるようになったと思います。自分ができるようになったことなど、いろんながやった事のないことなど、いろんな大変さや、とても大変なことを働くということは、とても大変なことだということを知りました。このようなことが発見でき、とてもよかったです。今回の職場体験で、仕事をするこゝとの大変さ、責任などがよく分かりました。また、めったにできない貴重な体験をすることができました。

奥の深さを学びました

一から勉強を始めたので、正直に最初はとまどいました。そして介護の仕事の奥の深さを学ばせていただきました。利用者の方とよい人間関係を築くところから介護が始まると感じました。利用者のありのままを受け入れ、尊重することで利用者の心が開かれるものだと思います。介護者の価値観や考えを押しつけては、よい関係が生まれないと肌で感じました。相手思いやる気くばりが大事だと改めて学びました。

実際の現場を体験

教室で学んだ事と本当にギャップがあり、実際の現場にてみると本当に分らないものだと思ひました。オリエンテーション前に話して頂いた「目くばり、気くばり、心くばり」がとても印象に残っていて、それを心に、大変だったけど、これからもっと勉強したい!!という気持ちが今回の実習で更に強くなったので、少しでも学ばせて頂いた事を生かせるよう頑張つて、介護の世界でやっていきたいと思います。

学校で学べない事を体験

施設の雰囲気、入浴介助の方法と流れ、利用者の方々との接し方等、スクーリングでは決して学んだり感じたりできない事を体験、知ることができ、とても有意義な2日間になりました。同時に大変な面も知る事もでき、私はこの先、介護施設等で働きたいと思っていますので、とても貴重な2日間だったと思います。介護に対しての自分の考えもいい意味で変わったと思います。

福祉の仕事は重労働

さてこの度はお忙しいところ僕たちの福祉体験学習を経験させていただき、どうもありがとうございます。僕たちは今回の体験を通じて一番感じたことは福祉の仕事が予想以上に大変で疲れるということです。お年寄りの方の手伝いや、お年寄りとの会話などによるコミュニケーションは、特に大変でした。皆様方のお仕事のうまさ・お年寄りが困っていた時の対応の仕方など、流石なものだと思ひました。

利用者さんと接して

ある意味、暗いイメージを受けやすい仕事場にも感じられる職種だと思うのですが、若い方々が笑い声や笑顔で仕事をしておられたことが特に印象的でした。2日間でしたが、体や心に痛みを負つておられる利用者さんと親切に接しておられる職員の方々と共に過ごさせていただけたことに感謝しています。

平成19年度 職員研修発表会

◆第1回 職員研修発表会の演題

(平成19年9月20日 静岡県男女共同参画センター あざれあ)

- 「認知症の進行を予防する為の取り組み」
～下肢に刺激を与えた事によって起こる行動変容～ 〔芙蓉の丘〕
- 「心と心の向き合う介護」 〔さくら〕
- 「経管栄養剤固形化への取り組み」 〔きよみの里〕
- 「現場のケアの質をあげる為の取り組み」
～KOMIチャートを使用して利用者が見えるケア～ 〔すすかけの街〕

◆第2回 職員研修発表会の演題

(平成20年9月20日 静岡県男女共同参画センター あざれあ)

- 「経管から経口摂取へ向けての取り組み」
～ラーメンが食べたい～ 〔白梅ケアホーム〕
- 「浮腫に対する新たな取り組み」
～リンパドレナージを試みて～ 〔花平ケアホーム〕
- 「転倒・転落事故を予防するための取り組み」
～夜間の排泄パターンに焦点をあてて～ 〔グリーンヒルズ藤枝〕
- 「良眠への誘い」
～日光浴を取り入れて～ 〔於保老健センター〕
- 「認知症高齢者における睡眠への取り組み」
～質の良い眠りを提供する為に～ 〔白梅豊岡ケアホーム〕
- 「不穩をなくすための援助」
～役割を持つことで不穩の軽減をはかる～ 〔風の杜〕
- 「身体拘束をしない介護」
～拘束体験をして利用者の思いを知る～ 〔きよみの里〕
- 「S氏のADL向上を目指して」 〔すすかけの街〕
- 「中庭・畑を利用した園芸活動」 〔芙蓉の丘〕
- 「現任教育のあり方」 〔西山ウエルケア〕

第4回 東海・北陸ブロック老健大会

◆期日 / 平成20年5月22日(木) ～ 平成20年5月23日(金)

◆会場 / 静岡県浜松市 アクトシティ浜松 (大ホール・コンgresセンター)

今回は静岡県運営の大会です。

会員施設皆様の参加及びご協力をよろしくお願い致します。

渡邊庸一 名誉会長を悼んで



平成19年11月18日、渡邊庸一名誉会長が享年69歳でご逝去されました。平成3年度の当協議会設立当初より平成18年度末までの16年間に亘り、会長として当協議会及び各施設の健全な発展の為に尽力いただきました。

また、静岡県では第一号の老人保健施設「西山ウエルケア」を開設され、地域の保健・医療・福祉の発展に多大なる貢献をされました。

渡邊先生から「我々老健職員は、運営基準を遵守して日常に当らなければならないことは当然であるが、いつまでも利用者や利用者のご家族の気持ちの安らぎを求めて、努力を続けなければならない。大変な時期が続く中でも、お互いの研鑽を積み重ねなければならない」と、ご教示いただいてまいりました。

偉大なる先達を失い、本当に残念でなりません。故渡邊先生の生前のご功績を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げます。

静岡県老人保健施設協議会副会長 山崎 守



平成19年度 静岡県老人保健施設協議会 事業報告

平成19年

5月10日～11日	第3回 東海・北陸ブロック老健大会（座長1名派遣） 60演題中静岡県8演題発表	石川県 金沢市
5月29日	幹事会	静岡市
6月5日	平成19年度 静岡県老人保健施設協議会 定期総会	静岡市
6月19日	全国老人保健施設協会 代議員会及び総会（支部長出席）	東京都
7月18日	全国老人保健施設協会 第1回支部事務担当者会議（事務局出席）	東京都
9月20日	第1回 職員研修発表会 4演題発表	静岡市
10月10日	全国老人保健施設協会 第2回支部長会（支部長出席）	愛知県名古屋市
10月10日～12日	第18回全国介護老人保健施設 愛知大会（座長3名派遣）	愛知県名古屋市
11月5日	第1回 栄養部会 研修会	静岡市
11月6日	幹事会	静岡市
11月30日	第4回 東海・北陸ブロック老健大会打合せ会（事務局出席）	浜松市
12月11日～12日	1泊実務者連絡会	浜松市
12月20日	第1回 看護・介護部会 研修会	静岡市

平成20年

2月15日	幹事会	浜松市
2月15日	第2回 栄養部会 研修会	静岡市
2月16日	第1回 リハビリ部会 研修会	浜松市
2月19日	第2回 職員研修発表会 10演題発表	静岡市
2月22日	全国老人保健施設協会 第29回代議員会（支部長出席）	東京都
2月26日	第1回 機関誌「老健しずおか」編集会議	静岡市
3月11日	第2回 機関誌「老健しずおか」編集会議	静岡市
3月26日	第1回 通所リハビリ部会 研修会	静岡市

その他

■平成19年度 新規加入施設：4施設

長鶴の郷、鶴舞乃城、あらたま、ユニケア岡部

■合計加入施設数：90施設

静岡県老人保健施設協議会ホームページを開設いたしました！

<http://www.rouken-shizuoka.jp/>

ホームページでは協議会の概要・あゆみを始め、協議会の活動、会員施設の紹介や会員専用のページを設けて情報公開を行っています。また、第4回 東海・北陸ブロック老健大会のご案内や参加申込等もこちらから受付けています。上記URLよりご覧いただけますので、ご確認ください。

県内老人保健施設地区別所在地案内

各施設の窓口が直接利用のご希望をお受けいたします。

まずはお気軽にお電話下さい。

東 部 地 区

リ バ ブ ル ケ ア	〒418-0105 富士宮市原682	TEL (0544) 54-1800
タ カ ネ 園	〒410-0305 沼津市鳥谷611-1	TEL (055) 967-8800
み く り や 園	〒412-0042 御殿場市萩原354-1	TEL (0550) 83-3567
ヒューマンライフ富士	〒417-0801 富士市大淵3901-1	TEL (0545) 36-0511
富士ケアセンター	〒418-0035 富士宮市星山1129	TEL (0544) 22-3111
安 寧 の 郷	〒410-2315 伊豆の国市田京1258-44	TEL (0558) 76-8100
梅 名 の 里	〒411-0816 三島市梅名578	TEL (055) 977-8686
長泉ケアセンター博寿園	〒411-0945 駿東郡長泉町本宿418-1	TEL (055) 989-1121
お お ひ ら	〒410-0821 沼津市大平1117-1	TEL (055) 934-1165
あ す な ろ	〒412-0045 御殿場市川島田1076-2	TEL (0550) 88-0007
熱海ナーシングホーム翔寿園	〒413-0002 熱海市伊豆山字七尾原1173-172	TEL (0557) 80-3712
き き ょ う の 郷	〒416-0946 富士市五貫島175	TEL (0545) 65-2000
ラ・サンテふよう	〒411-0047 三島市佐野1205-3	TEL (055) 989-7000
の ゑ み	〒414-0001 伊東市宇佐美2405-2	TEL (0557) 48-0658
み ゆ き の 苑	〒418-0005 富士宮市宮原337-4	TEL (0544) 28-3900
河 津 お も と 苑	〒413-0502 賀茂郡河津町川津筏場1512-18	TEL (0558) 35-7770
し お さ い	〒410-3514 賀茂郡西伊豆町仁科243-1	TEL (0558) 52-3000
な ぎ さ 園	〒415-0152 賀茂郡南伊豆町湊674	TEL (0558) 62-6800
ひ ろ み	〒417-0801 富士市大淵39-1	TEL (0545) 21-6600
グリーンズ修善寺	〒410-2413 伊豆市小立野100-2	TEL (0558) 74-3300
サ ン 静 浦	〒410-0106 沼津市志下344-1	TEL (055) 934-6000
椎 路 の 里	〒410-0302 沼津市東椎路32-1	TEL (055) 927-3900
夢 の 樹 の 郷	〒411-0902 駿東郡清水町玉川183-1	TEL (055) 971-1000
みしゅくケアセンターわか葉	〒410-1107 裾野市御宿1475	TEL (055) 997-8181
ヒルズかどいけ	〒410-0012 沼津市岡一色672-2	TEL (055) 924-5391
い か る 野	〒418-0105 富士宮市原709	TEL (0544) 54-3200
み は ら し	〒414-0055 伊東市岡187	TEL (0557) 37-3804
ふれあいの下田	〒415-0013 下田市柿崎32-10	TEL (0558) 27-0700
い と う の 杜	〒414-0002 伊東市湯川288-9	TEL (0557) 35-4165

中 部 地 区

ケアセンター瀬名	〒420-0903 静岡市葵区長尾39-5	TEL (054) 264-2221
あ か つ き の 園	〒424-0917 静岡市清水区駒越2883-1	TEL (054) 334-5533
ケアセンターひまわり	〒424-0934 静岡市清水区村松原1-2-34	TEL (054) 336-3033
焼津ケアセンター	〒425-0062 焼津市中根新田1315	TEL (054) 623-8111
コミュニティ・ケア高草	〒425-0005 焼津市方ノ上358-1	TEL (054) 627-5588
サンライズ大浜	〒422-8045 静岡市駿河区西島528	TEL (054) 282-2839
楽 寿	〒421-2115 静岡市葵区与左衛門新田98-11	TEL (054) 296-1112
こ み に	〒420-0963 静岡市葵区赤松8-16	TEL (054) 209-7000
ケアセンターゆうゆう	〒425-0052 焼津市田尻4	TEL (054) 625-0321
カリタス・メンテ	〒426-8662 藤枝市水上123-1	TEL (054) 643-1266
グリーンヒルズ藤枝	〒426-0133 藤枝市宮原420-1	TEL (054) 639-1234
エ コ ト ー プ	〒428-0007 島田市島534-1	TEL (0547) 45-0111

中部地区

アポロン	〒427-0047	島田市中溝町1714-1	TEL (0547) 34-2000
アリス草薙	〒424-0886	静岡市清水区草薙424-7	TEL (054) 347-6511
萩の里	〒422-8018	静岡市駿河区西大谷12-5	TEL (054) 236-1155
はるかぜ	〒421-0514	牧之原市菅ヶ谷1240-1	TEL (0548) 52-7771
きよみの里	〒424-0203	静岡市清水区興津東町1829	TEL (054) 369-7700
葵の里	〒421-0135	静岡市駿河区小坂376-1	TEL (054) 257-2281
芙蓉の丘	〒421-3306	庵原郡富士川町中之郷2500-1	TEL (0545) 56-2311
あみ	〒421-2109	静岡市葵区福田ヶ谷73-2	TEL (054) 206-1777
コミュニティケア吉田	〒421-0302	榛原郡吉田町川尻1700-1	TEL (0548) 34-5577
さくら	〒427-0011	島田市東町1331	TEL (0547) 33-0800
マインド	〒426-0075	藤枝市瀬戸新屋487-2	TEL (054) 643-3601
フォレスト 藤枝	〒426-0033	藤枝市小石川町2-8-13	TEL (054) 647-3833
かりん	〒421-0105	静岡市駿河区宇津ノ谷1-1	TEL (054) 268-6666
ケアセンター池田の街	〒422-8005	静岡市駿河区池田185-1	TEL (054) 267-2211
鶴舞乃城	〒424-0114	静岡市清水区庵原町3158	TEL (054) 361-1234
ユニケア岡部	〒421-1131	志太郡岡部町内谷1473-3	TEL (054) 667-5555

西部地区

西山ウエルケア	〒432-8001	浜松市西区西山町411-2	TEL (053) 485-5500
はまなこ介護老人保健施設	〒431-1402	浜松市北区三ヶ日町都筑3664-10	TEL (053) 526-1154
三方原ベテルホーム	〒431-1304	浜松市北区細江町中川7421-1	TEL (053) 436-6600
みっかび東介護老人保健施設	〒431-1404	浜松市北区三ヶ日町宇志34-1	TEL (053) 524-2000
都ケアセンター	〒431-2102	浜松市北区都田町7555-52	TEL (053) 428-3133
なかよし	〒438-0838	磐田市小立野135-1	TEL (0538) 34-6543
エーデルワイス	〒434-0041	浜松市浜北区平口2405	TEL (053) 585-1500
ハイマート有玉	〒431-3122	浜松市東区有玉南町1436	TEL (053) 434-7877
白梅ケアホーム	〒431-1112	浜松市西区大人見町3011-1	TEL (053) 485-7711
入野ケアセンター	〒432-8061	浜松市西区入野町6417	TEL (053) 440-1200
於保老健センター	〒437-1216	磐田市一色26	TEL (0538) 58-2550
エバーグリーン掛川	〒436-0043	掛川市大池680	TEL (0537) 21-0550
すずかけの街	〒430-0918	浜松市中区八幡町181	TEL (053) 476-1156
さいわい	〒431-3423	浜松市天竜区渡ヶ島221	TEL (053) 583-1156
おおふじ五幸ホーム	〒438-0002	磐田市大久保508-3	TEL (0538) 38-5511
さくらの苑	〒438-0074	磐田市二之宮字仙水1162	TEL (0538) 33-3800
神子の園	〒436-0084	掛川市逆川100	TEL (0537) 20-0080
袋井ケアセンター	〒437-0003	袋井市萱間933-1	TEL (0538) 49-4911
まんさくの里	〒431-0422	湖西市岡崎1353-1	TEL (053) 572-3911
はまおか	〒437-1688	御前崎市池新田2070	TEL (0537) 86-8822
花平ケアセンター	〒431-2211	浜松市北区引佐町花平708	TEL (053) 542-4187
白脇ケアセンター	〒430-0846	浜松市南区白羽町1424	TEL (053) 444-3131
みかたはら介護老人保健施設	〒433-8105	浜松市北区三方原町675-6	TEL (053) 438-5886
ケアセンター芳川	〒430-0838	浜松市南区鼠野町24	TEL (053) 426-0003
天王介護老人保健施設	〒435-0051	浜松市東区市野町2495	TEL (053) 423-1070
あおばケアガーデン	〒437-1302	掛川市大淵4345	TEL (0537) 48-0002
風の杜	〒437-0214	周智郡森町草ヶ谷104-1	TEL (0538) 85-1121
さわだの庄	〒439-0037	菊川市西方5511	TEL (0537) 35-8889
白梅豊岡ケアホーム	〒438-0126	磐田市下神増183-1	TEL (0539) 62-1601
ナーシングホームオンフルール	〒437-0023	袋井市高尾1439-3	TEL (0538) 45-0080
五洋の里	〒438-0234	磐田市掛塚3190-1	TEL (0538) 67-1755
長鶴の郷	〒435-0031	浜松市東区長鶴町290	TEL (053) 423-2700
あらたま	〒434-0004	浜松市浜北区宮口3152	TEL (053) 582-3211

介護老人保健施設の理念と役割

理念

介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上をめざし総合的に援助します。また、家族や地域の人びと・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

● 5つの役割と機能 ●

1

■包括的ケアサービス施設

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援します。そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。

2

■リハビリテーション施設

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、集中的な維持期リハビリテーションを行います。

3

■在宅復帰施設

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、多職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。

4

■在宅生活支援施設

自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを提供するとともに、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めます。

5

■地域に根ざした施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、さまざまなケアの相談に対応します。市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担います。また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。

静岡県老人保健施設協議会

〒431-1112 静岡県浜松市西区大人見町3011番地の1

介護老人保健施設 白梅ケアホーム 内

TEL<053>485-7711 FAX<053>485-7712

<http://www.rouken-shizuoka.jp/>